

漁況海況予報事業（情報交換推進事業）

兼 浜 安 信

1. 目的および内容

沿岸沖合漁業に関する漁況海況の調査研究及び資源調査の結果に基づいて予報を作成すること並びに漁況海況情報を収集し、当業者に通報することにより、漁業資源の合理的利用と操業の効率化を図り、漁業経営の安定に資する。

2. 方 法

(1) 情報の収録

① 海況情報

表面水温データーは県下のマグロ船（19トン型）に依頼し、漁業無線局を通じ時刻、位置、水温のデーターを得る。これらのデーターを毎週月水金にセンターにテレファックスで送信する。

② 漁況情報

定置網、カジキ曳縄、トビウオ浮敷網、トビイカ釣、カツオー本釣、マグロはえ縄等の水揚状況について、関係漁協及び市場へ依頼し、毎月の船別、魚種別、銘柄別、水揚量及び入港隻数の情報を旬毎に報告を願い、これをとりまとめ「県速報」として水産関係者に広報する。情報収集先は定置網が国頭、読谷、知念、カジキ曳縄が与那国、糸満、トビウオ浮敷網が伊江、知念、糸満、久米島、八重山、トビイカ釣が知念、与那原、糸満、カツオー本釣が本部、伊良部、八重山の各漁協、マグロはえ縄が県漁連から収集している。

(2) 対象漁業種類

定置網、カジキ曳縄、トビウオ浮敷網、トビイカ釣、カツオー本釣、マグロはえ縄

(3) 広報方式

県速報を隔週報とし、周年広報とする。

(4) 広報対象

各漁協及び漁業関係団体、水研、各県水試、主要市町村等

(5) 広報の内容

県下主要市場（漁協）における定置網による漁獲物、カジキ曳縄による漁獲物、トビイカ、カツオ、マグロ類、カジキ類の水揚量、入港隻数及び沖縄近海の表面水温分布

3. 昭和58年度漁況経過概要

(1) カツオー本釣

沖縄周辺海域における昭和58年度のカツオー本釣の水揚状況は、主要三漁協（本部、伊良部、八重山）の出漁のべ隻数は1,721隻、総水揚量は1,856トンでほぼ前年並（1,820トン）であり、平

年（1.545トン）より20%良かった。また銘柄別にみると全漁期間で大判（6～9kg）26%、中判（3～6kg）24%、小判（1.2～3kg）26%、ビリ（1.2kg以下）4%、大中判混り8%、大小混り8%、中小混り2%、その他シビ等2%であった。

(2) カジキ曳縄

糸満漁協における4月から10月までのカジキ曳縄漁はのべ195隻水揚し、総水揚量は25,594kg（226尾）で一回一隻当たり水揚量は131kgであった。魚種はクロカワカジキであった。

与那国漁協における4月から1月までのカジキ曳縄漁はのべ1,278隻水揚し、総水揚量は kg（1,371尾）一回一隻当たり水揚量は、107kgであった。魚種別割合はクロカワカジキ94%、シロカワカジキ6%であった。

(3) 定置網

定置網の主要水揚地区は知念、国頭、読谷の3地区で9ヶ統あり、58年4月から59年2月までの総水揚量は125.3トンで1ヶ統あたり年間水揚量は13.9トンであった。おもな魚種はカツオ（スマ）、ツムブリ、アジ類等であった。

(4) トビウオ浮敷網

トビウオの主要水揚5地区（伊江、八重山、糸満、久米島、知念）の4月から10月までののべ水揚隻数は720隻で、総水揚量は3290トンであった。一日一隻当たり水揚量は457kgであった。地区別水揚量は伊江53%、八重山39%で再地区で92%占めている。

(5) トビイカ釣

トビイカ漁の主要水揚3漁協（知念、与那原、糸満）の7月から11月までののべ隻数は2,122隻で総水揚量は73.4トンであった。一日一隻当たり水揚量は35kgであった。漁協別には47%、与那原22%、糸満31%であった。

(6) マグロはえ縄

県漁連における4月から2月までのマグロはえ縄船の水揚総延隻数は721隻で総水揚量は3688トンであった。一日一隻当たり水揚量は5.1トンであった。魚種別割合はキハダ55%、メバチ17%、クロカワ16%、ビンナガ5%、メカジキ4%、バンショウカジキ2%、その他（マカジキ、シロカワカジキ、クロカワカジキ等）1%であった。なおクロマグロは4～6月にかけて水揚げがあり総水揚量は2,679kgであった。月別には4月33kg（水揚回数1回）、5月756kg（3回）、6月1,890kg（11回）であった。

漁海況旬報

(第 45 報)

(昭和 58 年度 第 1 報)

(昭和 58 年 4 月 1 日 ~ 4 月 10 日)

S 海況

沖縄近海の表面水温は22~25℃で、3月下旬に比べ、全般的に1℃程昇温した。

前年及び平年と比べ1℃程高めの水温となっている。県下各地の沿岸水温は那覇22.2℃、宮古23.0℃(平年差+0.7℃)、石垣23.4℃(同+0.7℃)、与那国24.5℃(同+0.6℃)、また魚釣島近海24.3℃(同+0.7℃)と各地とも平年に比べ高目の水温となっている。

沖縄本島各地の地先水温は与那国23.0℃、瀬底島21.9℃、久高島22.0℃、宮城島念武湾21.0℃で、本島沿岸が平年に比べ低目となっている。

S 漁況

昭和58、57年度はカツオ、マグロを中心に漁況情報を提供してまいりましたが、本年度(S58年度)から沖縄沿岸を移動回遊する表層性の魚種を対象とし、定置網、カベジキ等類、トビウオ浮網、トビイカ釣等を加えてさらに内容を充実していきたいと考えていますので、漁業者の皆さんからの情報の提供もお願いいたします。

定置網

沖縄本島における定置網漁業の地域を代表する国頭、読谷、知念地先については移動回遊性のカツオ(スマ)、ナガユ(ツムブリ)、ガー(アジ類)、ガツン(メアジ)、マグロの5種類についてその漁獲量の時期的変動と海況との結びつきを調査しております。国頭地先の定置網漁は4月から開始されており、ヤマトミズズン生体はマグロ、グルタマ、カマス等が漁獲され、知念地先はガツンを主体にカツオ(スマ)、ナガユ、ガー等が漁獲されている。読谷地先は4月中旬に入網の予定である。

カベジキ等類

与那国近海のカベジキ類は古くは安曇で漁獲されていたが熟練者も少なくなっていることと最近ではカツオの活餌を使った曳網漁業を行っている。漁場は島周辺の西崎沖及び馬ノネで操業している。

4月上旬の漁獲量はクロカワ36尾5.3トン(91%)、シロカワ0尾0.5トン(9%)であった。漁期は4月~6月で盛期は5月ですのでこれから本格的に漁獲がよろう。米満

沖縄県水産試験場

〒901-03 沖縄県糸島市西崎町1丁目
TEL 09899-4-3593
テレファックス 09899 4 8703

地先のカジキ曳網は3月に水揚げがあったが、4月上旬は無かった

トビウオ浮網

伊江島地先における4月上旬のトビウオ漁は大(3尾/kg)主体で2.0トンの水揚げがあり1日1隻当り平均漁獲量は88kgであった。八重山におけるトビウオ漁は波照間周辺海域の3~5kmの範囲で大型主体で小型魚(8尾/kg)混じりの15.3トンの水揚げがあり、1日1隻当り平均漁獲量は1.179kgであった。知念、糸満、久米島においては4月上旬はまだ出漁していない。

カツオ一本釣り

(漁業情報サービスマンからの情報提供)

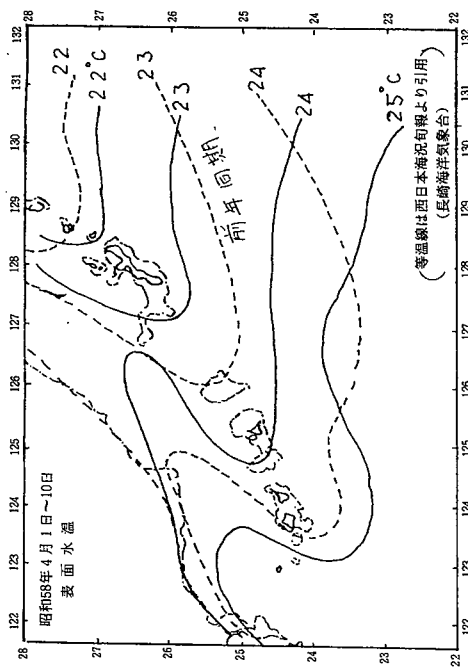
台湾北側から東南にかけての西方漁場ではこのところ悪天候が続いているため、出漁船が少く本格的に漁場形成はまだみられていないが、3月下旬に先島諸島南から沖繩西方の23~25℃海水帯で鳥行、フナ付群による操業状況がみられ、1日2~4.5トンの漁獲があった模様、魚体は例年より小型で1.5kg以下の小主体。この北側でも南西諸島から屋久島種子島付近でも散発的に1~2トン程度の漁獲がみられているが主群の沖縄西方への来遊は例年より1旬以上遅れているようである。

マグロはえ縄

県漁連に水揚げされたマグロはえ縄船(49型)は20隻で総水揚げ量が91.6トンであった。漁場は主としてフィリピン東方海域及び西カロリン諸島付近で操業している。なお総水揚げにはクロカワカジキの県外輸入分が含まれている。

その他の漁業情報

この欄は漁業者の皆さんからの漁業情報をお待ちしております。



業種別、漁船別水揚げ状況(昭和58年4月1日~4月10日)

| 業種 | 所産国 | 頭数 | 延べ頭数 | 水揚げ量(kg) | 漁場 | 魚種 | 別水揚げ量(kg) | 前型 | 回 |
|-----|-----|----|--------|----------|-------|------|-----------|-------|--------|
| 定置網 | 国頭 | 1 | 1 | — | 国頭 | カツオ | 239 | ナガ440 | メアジ329 |
| 網 | 知念 | 1 | 1 | — | 知念 | ガー | 27 | マクロ85 | — |
| 曳網 | 糸満 | 1 | 1 | — | 糸満 | — | — | — | — |
| 網 | 伊江 | 40 | 40 | 5,786 | 伊江 | シロカワ | 515 | クロカワ | 5,271 |
| 浮網 | 知念 | 23 | 23 | 2,027 | 知念 | トビウオ | (大)1,529 | (中)3 | ダツ495 |
| 釣 | 糸満 | 1 | 1 | — | 糸満 | — | — | — | — |
| 網 | 八重山 | 13 | 13 | 15,325 | 八重山 | トビウオ | 15,325 | — | — |
| 釣 | 知念 | 1 | 1 | — | 知念 | — | — | — | — |
| 釣 | 糸満 | 1 | 1 | — | 糸満 | — | — | — | — |
| 釣 | 伊江 | 1 | 1 | — | 伊江 | — | — | — | — |
| 釣 | 八重山 | 1 | 1 | — | 八重山 | — | — | — | — |
| はまぐ | 県漁連 | 20 | 91,568 | 22,115 | フィリピン | クロカワ | 850 | シロカワ | 850 |
| 網 | — | — | — | — | — | マカシキ | 6,884 | メカシキ | 6,884 |
| — | — | — | — | — | — | キハダ | 24,853 | メバチ | 27,163 |
| — | — | — | — | — | — | バシヨウ | 1,271 | ヒナナガ | 7,506 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | ホニマゴ |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | 33 |

漁海況旬報

(第46報)
(昭和58年度 第2報)
(昭和58年4月11日～4月20日)

S 海況

沖縄近海の表面水温は、23～26℃台で、前旬に比べ1℃程度温し、前年に比べ、全般的に1℃程度高め、平年に比べても1℃高めの水温となっている。

4月13日に実施された第11管区海上保安本部の表面流況観測では、石垣島北西の黒瀬は、魚釣島の南方5～30マイルの間に1.0～1.4ノットの東流でみられ、黒瀬は、魚釣島の南の200m深線に沿って流去している。

県下各地の沿岸水温は、那覇22.8℃、宮古26.0℃(平年差+2.7℃)、石垣島25.3℃(同+1.5℃)、与那国25.6℃(同+1.0℃)、魚釣島近海25.3℃(同+1.1℃)で、先島近海は、平年に比べ高めの水温となっている。

また、沖縄本島各地の地先水温は、北土老地先23.2℃、瀬底島地先23.3℃、宮城島、金武湾側22.6℃、渡瀬地先23.2℃であった。

S 漁況

定置網

定置網に入網した移動回遊性の魚種別割合はカツオ88%、ナガイユ(ツムブリ)1%、ガツン(メアジ)29%、ガラ(アジ類)8%、マグロ4%等であった。国頭地先で漁獲されたものは、魚種は先旬はヤマトミズンであったが、今旬はカツオ主体にガツン、マクロ等があった。知念地先においては先旬はガツン(メアジ)主体であったが、今旬はカツオ主体にガツン等があった。読谷地先は今旬はまだ網入れがなかった。

カジキ漁網

与那国地先のカジキ漁は先旬は延べ40隻出漁したのに対し、今旬は35隻で5隻減であった。一隻当りの水揚げは先旬145kgに対し、今旬は130kgであった。今旬のクロカワカジキの漁獲の範囲は45～211kg、シロカワカジキが55～157kgであった。糸満地先では1隻(87kg)の水揚げがあっただけである。

沖縄県水産試験場

〒901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目
TEL 09899-4-3593
テレファックス 09899 4 8703

トビウオ浮網

伊江島地先の今旬のトビウオ漁は先旬同様本主体で3.6トンの水揚げがあり、1隻当り平均水揚げ量は149kgで先旬の170kgであった。知念地先への出漁は1隻で102kgの水揚げがあった。糸満地先では延べ4隻が出漁しており1隻当り平均水揚げ量は83kgであった。八重山では本主体で22.4トンの水揚げがあり、1隻当り平均水揚げ量は1,315kgで先旬よりやや良かった。

カツオ一本釣

(漁業情報サービスマンター)

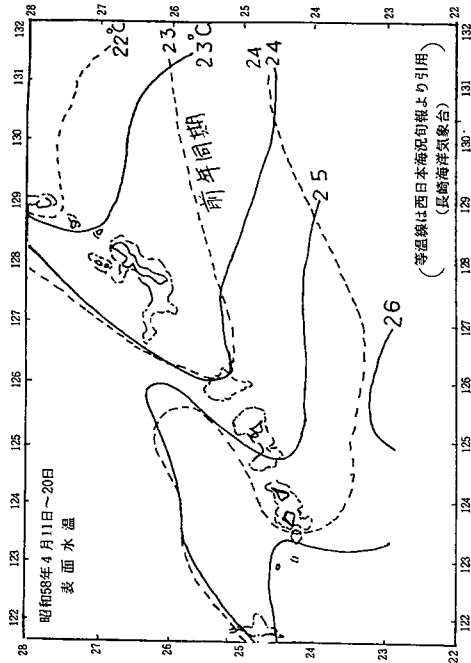
種子島、屋久島付近で1、2日操業、魚体はビリ～2kgで小判(1.5kg以下)が多い。さらに南では宮古島、先島の南東で木付フカ付であるが濃漁で、小判が中心。台湾湾にも一部出漁している。全般的に本年のカツオ漁況は遅れしており、魚体も小さいのが特長、今後は2～3kgもの出漁が予想される。

マグロはえ縄

県漁連に水揚げされたマグロはえ縄船は27隻で110トンの水揚げがあり、1隻当り水揚げ量は4.1トンであった。

その他の漁業情報

この欄は漁業者の皆さんからの漁業情報をお待ちしております。



業種別、漁船別水揚げ状況 (昭和58年4月11日～4月20日)

| 業種 | 所属 | 延べ隻数 | 水揚げ量(kg) | 漁場 | 魚種 | 別水揚げ量(kg) | 前日 |
|----|-----|------|----------|--------|---------|-----------|--------|
| 定置 | 国頭 | — | — | 国頭 | カツオ | 778 | — |
| 網 | 読谷 | — | — | 読谷 | ナガイユ | 8 | — |
| 網 | 知念 | — | — | 知念 | ガラ | 103 | — |
| 網 | 糸満 | 1 | 151 | 糸満地先 | クロカワ | 87 | — |
| 網 | 種子島 | 35 | 4,558 | 西宮沖 | シロカワ | 277 | — |
| 網 | 伊江 | 24 | 3,587 | 伊江島 | トビウオ(大) | 1,960 | 40 |
| 網 | 知念 | 1 | 102 | 知念地先 | トビウオ(大) | 102 | 5,786 |
| 網 | 糸満 | 4 | 372 | 糸満地先 | トビウオ(大) | 153 | 23 |
| 網 | 八重山 | 17 | 22,355 | 鹿野間 | トビウオ(大) | 17,996 | 13 |
| 網 | 知念 | — | — | 知念 | トビウオ(小) | 4,359 | 15,225 |
| 網 | 与那国 | — | — | 与那国 | — | — | — |
| 網 | 糸満 | — | — | 糸満 | — | — | — |
| 網 | 伊良部 | — | — | 伊良部 | — | — | — |
| 網 | 地間 | — | — | 地間 | — | — | — |
| 網 | 八重山 | — | — | 八重山 | — | — | — |
| 網 | 県漁連 | 27 | 109,536 | フィリッピン | クロカワ | 4,758 | — |
| 網 | 県漁連 | — | — | フィリッピン | シロカワ | 1,635 | — |
| 網 | 県漁連 | — | — | フィリッピン | メカジキ | 1,079 | — |
| 網 | 県漁連 | — | — | フィリッピン | メバチ | 9,161 | — |
| 網 | 県漁連 | — | — | フィリッピン | メバチ | 56,987 | — |
| 網 | 県漁連 | — | — | フィリッピン | メバチ | 32,311 | — |
| 網 | 県漁連 | — | — | フィリッピン | メバチ | 621 | — |
| 網 | 県漁連 | — | — | フィリッピン | メバチ | 2,947 | — |
| 網 | 県漁連 | — | — | フィリッピン | メバチ | 20,915 | — |
| 網 | 県漁連 | — | — | フィリッピン | メバチ | 1,588 | — |

漁海況旬報

(第47報)
(昭和58年度 第3報)
(昭和58年4月21日～4月30日)

S 海況

沖縄近海の表面水温は、28～29℃台で、4月中旬とさほど変化はないが、宮古島～久米島両方にかけて1℃程昇温した。先島周辺は、前年に比べ2℃程、沖縄島周辺では前年比1℃程高めの水温となっている。また眼下全般に平年に比べ1℃程高めの水温である。

4月21日に実施した当水試の沖縄島南部の表面流速観測では、喜屋武岬から南東15マイル間で、0.6～0.9ノットの北東流、中城湾口から南東10マイルの間で1.1ノットの南西流がみられた。

県下各地の沿岸水温は、那覇23.0℃、宮古28.8℃(平年差+2.6℃)、石垣26.1℃(同+1.4℃)と与那国26.0℃(同+0.8℃)、魚釣島26.0℃(同+1.0℃)、と那覇を除いて平年差高めの水温である。

沖縄本島の地先水温は、辺土名23.2℃、瀬底島24.7℃、読谷23.9℃、宮城島金武湾23.7℃、渡部25.6℃であった。

S 漁況

定置網

定置網に入網した移動回遊性の魚種別割合はカツオ58%、ナガイユ(ツムブリ)1%、ガツン(メアジ)28%、ガーラ(アジ類)8%、マグロ5%では先旬と同様の割合であった。固頭地先で漁獲されたおもなる魚種は先旬同様カツオ主体にガツン、ガーラ等があった。読谷地先は4月25日から水揚げがあり、カツオ主体にマグロ、ガーラ等があった。知念地先では先旬同様カツオ主体にガツン、ガーラ等があった。

カジキ漁獲

与那国近海のカジキ漁は延べ41隻出漁し、総水揚げ量は4.9トンで一隻当りの水揚げ量は120kgでほぼ先旬同様であった。今旬のクロカワカジキの魚体の範囲は58kg～353kg、シロカワカジキが67～237kgであった。喜屋武沖では水揚げがなかった。

沖縄県水産試験場

〒901-03 沖縄県糸島市西崎町1111
TEL 09899-4-3593
テレファックス 09899 4 8703

トビウオ浮網獲

伊江島地先の今旬のトビウオ漁は延べ45隻出漁し総水揚げ量は128トンの水揚げがあり、1隻当り平均水揚げ量は284kgで先旬の約2倍弱で豊漁であった。知念地先では1隻出漁があり1,362kgの水揚げがあった。糸満地先では延べ4隻出漁しており954kgの水揚げがあり1隻当り平均水揚げ量は239kgであった。久米島、八重山ではそれぞれ1隻当り平均水揚げ量は651kg、1,100kgで大型群主体であった。

カツオ一本釣

(漁業情報センター)

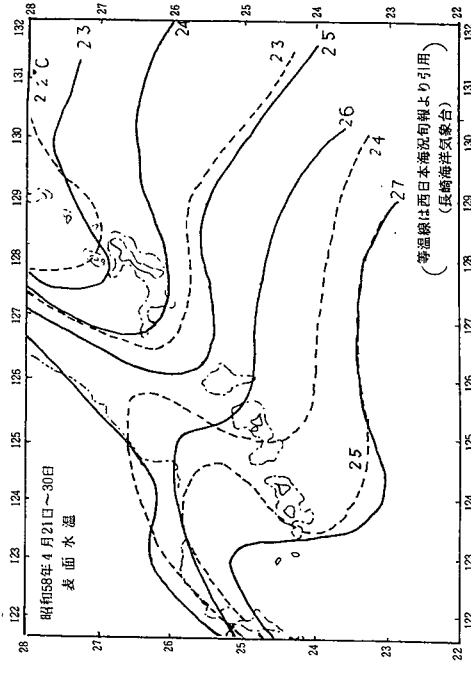
沖縄東方海域のN26°-27° E 130°-131°域で流木群とフカ付群で即行き不良、魚体1.2キロの小型である。

マグロはえ縄

県漁連に水揚げされたマグロはえ縄船は2隻で71.7トンの水揚げがあり、1隻当り水揚げ量は3.3トンであった。

その他の漁業情報

(この欄は漁業者の皆さんからの漁業情報をお待ちしております。)



業種別、漁獲別水揚げ状況(昭和58年4月21日～4月30日)

| 業種別 | 定置網 | 浮ト | トビウオ | カツオ | マグロ | その他 | 水揚げ量(kg) | 延べ隻数 | 漁獲 | 魚種別 | 水揚げ量(kg) | 前回変(kg) |
|------|-----|----|------|-----|-----|-----|----------|------|------|----------------|----------|---------|
| 定置網 | 知念 | 伊江 | 知念 | 糸満 | 八重山 | 知念 | 1,362 | 1 | 知念地先 | トビウオ(大) 1,362 | 118 | — |
| 浮ト | 伊江 | 伊江 | 伊江 | 伊江 | 伊江 | 伊江 | 4,910 | 41 | 喜屋武沖 | シロカワ 384 | 384 | 1 |
| トビウオ | 知念 | 糸満 | 久米島 | 八重山 | 知念 | 知念 | 28,402 | 24 | 喜屋武沖 | トビウオ(大) 908 | 908 | — |
| カツオ | 伊江 | 伊江 | 伊江 | 伊江 | 伊江 | 伊江 | 10,962 | 45 | 伊江島 | トビウオ(大) 10,962 | 10,962 | 35 |
| マグロ | 伊江 | 伊江 | 伊江 | 伊江 | 伊江 | 伊江 | 1,400 | 1 | 伊江島 | トビウオ(大) 1,400 | 1,400 | 24 |
| その他 | 伊江 | 伊江 | 伊江 | 伊江 | 伊江 | 伊江 | 36 | 4 | 伊江島 | トビウオ(大) 36 | 36 | — |
| 合計 | | | | | | | 69,012 | 115 | | | | 172 |

等温線は西日本海況旬報より引用(長崎海洋気象台)

漁海況旬報

(第48報)

(昭和58年度 第4報)

(昭和58年5月1日～5月10日)

沖縄県水産試験場

〒901-003 沖縄県糸島市南郷町1丁目
TEL 098989-4-3593
テレファックス 09899 4 8703

S 海況

沖縄近海の表面水温は、24～27℃台で前旬に比べ1℃程昇温し、前年同期に比べ全概に1℃程高めで、平年に比べて1℃程高めの水温となっている。しかし、沖縄本島北部の東西両岸では、23℃台と低めの水温となっている。県下各地の沿岸水温は24.0℃、宮古28.9℃(平年差1.7℃)、石垣26.6℃(同+0.9℃)、魚釣島近海26.6℃(同-0.8℃)で、宮古で著しく高い。

また、沖縄本島各地の地先水温は辺土名地先23.5℃、瀬底島地先25.2℃、読谷郡屋地先25.3℃、与那城、宮城島、金武湾側23.8℃、宜野座、渡部24.8℃となっている。

S 漁況

定置網

定置網に納入した移動回遊性の魚類割合はカツオ89%、ナガイユ(ツムグリ)32%、ガツン(メアジ)12%、ガーラ(アジ類)10%、マグロ13%であった。先旬に比べてナガイユが増加し、ガツンが減少した。

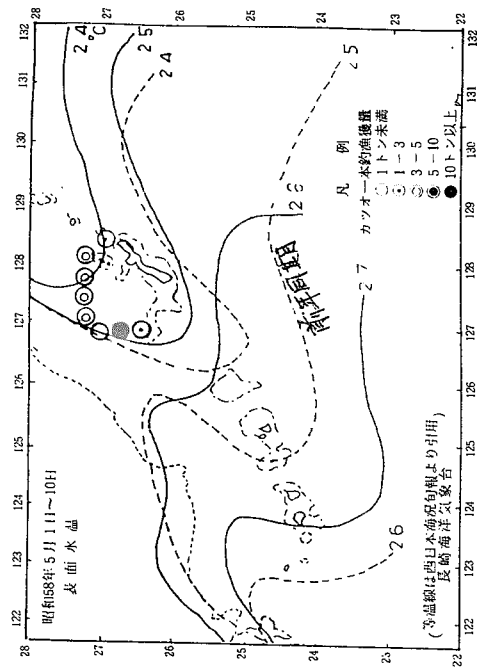
国頭地先では、マグロがふえナガイユが減少している。読谷地先ではカツオ、ナガイユ主体に水揚げがあった。知念地先では今旬はナガイユ主体にカツオ、ガーラ等の水揚げがあった。

カジキ漁獲

与那国近海のカジキ漁は延べ5隻出漁し総水揚げは6,588kgで一隻当りの水揚げは101kgであった。今旬のカワフカジキの漁獲の範囲は45～271kg、シロカワジキ69～83kgであった。暮屋武地先では延べ9隻出漁し総水揚げ1,085kgで一隻当り水揚げは121kgであった。

トビウオ漁獲

県下のトビウオ漁の主要な地域(伊江、知念、糸灘、久米島、八重山)は延べ57隻出漁し、総水揚げは38,006kgで一隻当り平均水揚げは667kgで先旬よりやや多かった。各地における1隻当り平均水揚げは伊江562kg、知



季節別・漁場別水揚げ状況 (昭和58年5月1日～5月10日)

| 乳鉢 | 所産 | 魚種 | 水揚げ量(kg) | 魚種 | 水揚げ量(kg) | 前回の量(kg) |
|-----|-----|---------|----------|-------|----------|-----------|
| 定置網 | 知念 | カツオ | 1,174 | ナガイユ | 1,149 | 407 |
| 見方 | 知念 | ガーラ | 356 | マグロ | 476 | |
| 船 | 知念 | 糸灘地先 | 983 | その他 | 82 | |
| 伊弉波 | 伊弉波 | シロカワ | 152 | クロカワ | 6,436 | 41,491 |
| 伊弉波 | 伊弉波 | トビウオ(大) | 10,170 | 中 | 4,131 | 528,292 |
| 伊弉波 | 伊弉波 | トビウオ(大) | 332 | 知念地先 | | 45,12,785 |
| 伊弉波 | 伊弉波 | トビウオ(大) | 2,623 | 糸灘地先 | | 1,362 |
| 伊弉波 | 伊弉波 | トビウオ(大) | 4,430 | 糸灘地先 | | 4,954 |
| 伊弉波 | 伊弉波 | トビウオ(大) | 3,979 | 伊弉波 | | 3,195 |
| 伊弉波 | 伊弉波 | トビウオ(大) | 8,960 | 伊弉波 | | 24,26,402 |
| 伊弉波 | 伊弉波 | トビウオ(大) | 15,704 | | | |
| 伊弉波 | 伊弉波 | トビウオ(大) | 6,019 | シロカワ | | 128 |
| 伊弉波 | 伊弉波 | トビウオ(大) | 2,043 | メカジキ | | 4,364 |
| 伊弉波 | 伊弉波 | トビウオ(大) | 51,740 | ハハチ | | 6,252 |
| 伊弉波 | 伊弉波 | トビウオ(大) | 2,615 | ヒナチガ | | 7,095 |
| 伊弉波 | 伊弉波 | トビウオ(大) | 453 | ホンマダコ | | |

念332kg、糸灘877kg、久米島341kg、八重山1,241kgであった。

各地域とも大型魚主体に水揚げがあった。

カツオ一本釣 本那漁船におけるカツオ漁は4月3日から散発的に出漁しており、3隻で延べ15回出漁し、マグロと主体に総水揚げ11,072kgで、1隻当り平均水揚げは738kgであった。5月上旬におけるカツオ漁は延べ20隻出漁し、カツオと主体に総水揚げ19,336kgで1隻当り平均水揚げは967kgであった。

(漁業情報サービスセンター)

・沖縄列島漁場では、台湾南部から沖縄近海のN21°29'、E121°-128°の広範囲で小判主体に1隻当り5トン前後であった。

・沖縄列島漁場ではN24°56'、E128°35'水温26で7トン、N29°31' E129°33'、水温23.6トンの漁獲。

マグロはえび 県漁連に水揚げされたマグロはえび船舶は23隻で80.7トンの水揚げがあり、1隻当り水揚げは4.1トンであった。

その他の漁業情報

(この欄は漁業者の皆さんからの産産産産をお待ちしております。)

漁海況旬報

(第 49 報)

(昭和 58 年度 第 5 報)

昭和 58 年 5 月 11 日 ~ 5 月 20 日

S 海 況

中瀬近海の表面水温は24~27℃台で、前旬と変化がな
く前年同期並である。また先島周辺では、平年に比べ1
℃程度低く、沖繩本島周辺では昨年並の水温であ
る。5月11日~14日の当水試の実施した表面流況観測は、
この5月18日の第11回沖縄海上保安本部の表面流況観測は、
沖繩県東部の現潮は、沖繩島北西55マイル付近を流れ、
流速は、1.5~1.8ノットで、伊江島北西で前年同様に
比べ流速はやや速い。また反流は前年同期には沖繩島に
若しく接近していたが、今回は伊江島から北西に40マイ
ル程離れてみられた。また久米島近海には反流はみられ
なかった。中城湾口~豊原武庫間の南東沖60マイルま
での間に南~東流0.3~1.1ノットの流れがみられた。
また中城湾口以北、読谷湾以北で23℃台それぞれで24~
26℃台の水温であった。

県下各地の沿岸水温は、那覇 24.2℃、宮古 26.6℃
(半年差 +0.6℃)、石垣 26.2℃(同土)、与那国
26.6℃(同 +0.3)、魚釣島近海 28.7℃(同 +0.7℃)
であった。

また、沖繩本島各地の地先水温は上名地先 23.4℃、
神底島地先 24.6℃、森谷新屋地先 24.6℃、宮城島、金
武湾側地先 23.6℃、笠野原、渡部地先 23.9℃であった。

S 漁 況

定置網に入網した移動回遊性の魚種別割合はカツオ33
%、ナガユ(ツムブリ)24%、ガツン(メアジ)27%、
ガーラ(アジ類)16%であった。先旬に比べてガツン、
ガーラ等が増加した。国頭地先ではガツン73%、カツオ
27%占めていた。断谷地先ではカツオ主体にナガユ、
ガーラ等があった。知念地先ではガツン主体にカツオ、
ナガユ等があった。

カジキ単網
与那国近海のカジキ漁は延べ53隻出漁し総水揚げ量は
5,910kgで一隻当りの水揚げ量は112kgであった。
今旬のクロワリカツジの漁獲量は36~371kg、シロ
カワカツキ25~315kgであった。糸逆地先では延べ17隻
出漁し、総水揚げ量は2,340kgで一隻当りの水揚げ量は138kg
で先旬に比べて好調であった。

沖 繩 県 水 産 試 験 場

〒 301-03 沖繩県糸満市内崎町1丁目
TEL 09899-4-3593
テレファックス 09899 4 8703

トビウオ浮動網

県下のトビウオ漁の主要5地域(伊江、知念、糸満、
久米島、八重山)は延べ79隻出漁し、総水揚げ量は52,274
kgで一隻当り平均水揚げ量は662kgであった。各地におけ
る一隻当り平均水揚げ量は伊江319kg、知念0、糸満602
kg、久米島216kg、八重山1,513kgであった。八重山地
域(流網周辺海域)では依然として好漁が続いている。

カツオ一本釣

本県漁協の5月中旬におけるカツオ漁は延べ16隻出漁
し、カツオトビウオ主体に総水揚げ量は21,511kgで一隻当り平
均水揚げ量は1,344kgで前旬に比べて上向きの兆がある。
(漁業情報センターデータベース参照)

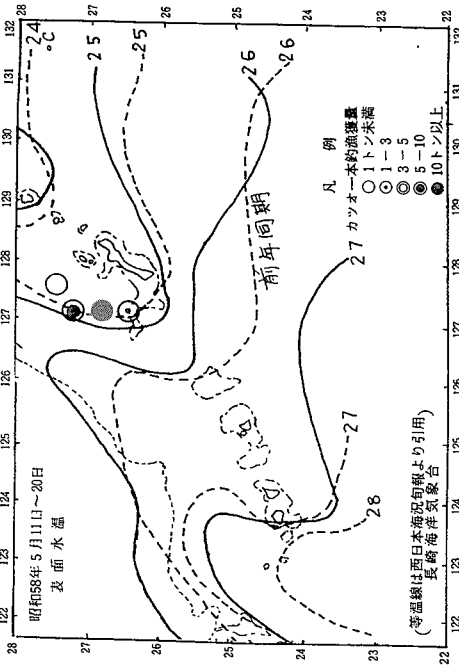
沖繩県から七島海域では、好漁潮は1日4~5ト、
また種子島近海でシビ主体2ト

マグロ延縄

県漁連に水揚げされたマグロ延縄船は39隻で117.3ト
の水揚げがあり、一隻当り水揚げ量は3.0トンであった。

その他の漁業情報

(この欄は漁業者の皆さんからの漁業情報を基に作り
おきます。)



漁種別、漁協別水揚げ状況(昭和58年5月11日~5月20日)

| 漁種 | 所産 | 漁協 | 頭数 | 延べ隻数 | 水揚量(kg) | 漁場 | 魚種別 | 水揚量(kg) | 前旬 | 回数 | |
|------|-----|----|----|---------|-------------|---------|---|---------------------------------|---------|--------|--------|
| 定置網 | 伊江 | 知念 | 53 | 17 | 2,340 | 頭谷 知念 地 | カツオ 1,084 ガーラ 542 | メアジ 819 | — | — | |
| トビウオ | 伊江 | 糸満 | 46 | 14,689 | 伊江 糸満 伊江 糸満 | 糸逆地先 | クロカワ 2,312 その他 28 | — | 9 | 1,085 | |
| トビウオ | 伊江 | 知念 | 53 | 5,910 | 伊江 糸満 | 伊江 糸満 | シロカワ 648 クロカワ 4,939 その他 323 | 65 | 65 | 6,568 | |
| トビウオ | 伊江 | 知念 | 46 | 14,689 | 伊江 糸満 | トビウオ(大) | 5,599(内)1,224 | 744 | その他 535 | 28 | 15,731 |
| トビウオ | 伊江 | 知念 | 5 | 3,008 | 糸逆地先 | トビウオ(大) | 3,000 | ダツ 8 | 3 | 2,623 | |
| トビウオ | 久米島 | 糸満 | 6 | 1,294 | 糸満 糸満 | トビウオ(大) | 1,084 | (内) 210 | 13 | 4,430 | |
| トビウオ | 八重山 | 糸満 | 22 | 33,283 | 糸満 糸満 | トビウオ(大) | 18,323 | (小) 14,960 | 12 | 14,880 | |
| トビウオ | 知念 | 糸満 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| トビウオ | 伊江 | 糸満 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| トビウオ | 伊江 | 糸満 | 16 | 21,511 | 伊江 糸満 | カツオ(大) | 13,696 | シビ 7,815 | 20 | 19,336 | |
| トビウオ | 伊江 | 糸満 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| トビウオ | 伊江 | 糸満 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| トビウオ | 伊江 | 糸満 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| トビウオ | 伊江 | 糸満 | 39 | 117,256 | 伊江 糸満 | フィリップ | シロカワ 11,574 メカジキ 3,208 メバチ 10,361 バシヨウ 4,946 | 353 5,292 10,361 5,325 | 23 | 80,709 | |

漁海況旬報

(第50報)
 (昭和58年度 第6報)
 (昭和58年5月21日～5月31日)

S 海況

沖縄近海の表面水温は、25～27℃台で、沖縄本島周辺で前旬に比べ1℃程度昇ったが、先島近海では、前旬並の水温である。与那国近海では、前年に比べ1℃低め、その他の海域では平年並の水温となっている。また全般的に平年並の水温となっている。

5月28日に実施された石垣島北西の海面流況観測の結果では魚釣島から、その南方50マイルまでの間に0.9～3.0ノットの北東流がみられ、黒潮の漂流者は魚釣島の南15マイル付近にみられ、2.7～3.0ノットと強い流れを示している。

県下各地の沿岸水温は那覇24.2℃、宮古26.8℃(平年差+0.5℃)、石垣26.8℃(同+0.2℃)、与那国26.8℃(同+0.1℃)、魚釣島近海27.0℃(同+0.5℃)となっている。また、沖縄本島各地の地下水温は迎土名地先24.0℃、浦底島先25.0℃、読谷郡読土名地先24.6℃、宮城島金武湾側先24.0℃、真野岬、渡辺地先24.6℃となっている。各地とも前旬に比べ0.5℃程度昇った。

長崎海洋気象台の今夏季(6月～9月)の漁況予想では表面水温及び、東シナ海の黒潮の流量は、平年並の見込みとなっている。

S 漁況

定置網

定置網に入網した移動回遊性の魚種別割合は、ナガイユ(ツマブリ)30%、カツオ28%、ガツン(メアジ)22%、カ、ガーラ(アジ類)20%、マグロ2%であった。先旬に比べてナガイユが増加した。回遊地先ではカツオ67%、ガーラ13%占めていた。陸地地先ではカツオ45%、ガーラ33%であった。知念地先ではナガイユ40%、ガツン29%であった。

カジキ漁網

与那国近海のカジキ漁は延べ104隻出漁し、総水揚げ量は10,780kgで一隻当りの水揚げ量は104kgであった。今旬のクロカワカジキの魚体の範囲は40～338kg、シロカワカジキ40～401kgであった。糸道地先では延べ22隻出漁し、総水揚げ量は3,285kgで一隻当りの水揚げ量は149kgであった。クロカワカジキの魚体の範囲は39～231kgであった。

沖縄県水産試験場

〒901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目
 TEL 09899-4-3593
 テレファックス 09899 4 8703

トビウオ浮網

伊江、久米島、八重山地先の三地域の総水揚げ量は延べ43隻出漁し21,966kgで一隻当り平均水揚げ量は512kgであった。各地における一隻当り平均水揚げ量は伊江335kg、久米島257kg、八重山1,933kgであった。

カツオ本釣り

本島漁協のカツオ漁は延べ19隻出漁し、18,923kgの水揚げがあった。また一隻当り水揚げ量は996kgであった。池間漁協は延べ19隻出漁し15,908kgの水揚げがあった。また、一隻当り水揚げ量は837kgであった。

伊良部漁協は延べ9隻出漁し、中判主体で11,826kgの水揚げがあった。また一隻当り水揚げ量は1,314kgであった。

八重山漁協は延べ19隻出漁し1.3kg以上のものが11,573kg、1.3kg以下小判のものとシビ産り9,949kgの水揚げがあった。また一隻当りの水揚げ量は975kgであった。

マグロ延縄

県漁連に水揚げされたマグロはえ縄船は36隻で95,8トンの水揚げがあり、一隻当り水揚げ量は2.7トントであった。

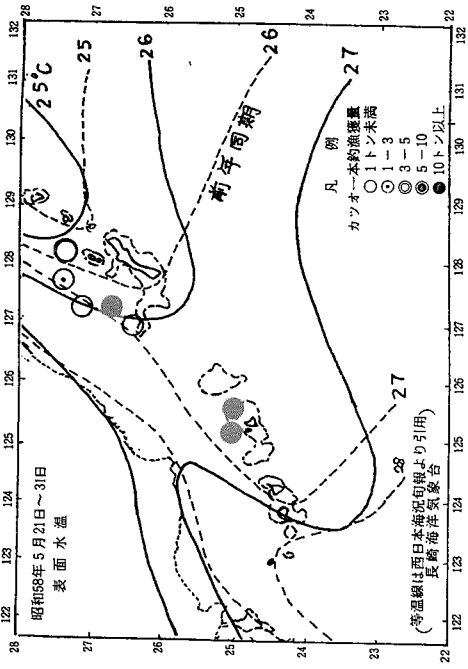
カツオ本釣り

(漁業情報サーベिसセンター)

沖縄近海域で操業しているカツオ船は24隻で136.9トンドで平均5.7トン。魚体はN20°-26°E 126°-129°では大33中41小23シビ2%。

その他の漁業情報

この欄は漁業者の皆さんからの漁業情報をお待ちしております。



業種別、漁協別水揚げ状況 (昭和58年5月21日～5月31日)

| 業種 | 所産船 | 所産船名 | 延べ隻数 | 水揚げ量(kg) | 漁場 | 魚種別 | 水揚げ量(kg) | 前日 | 変化(kg) |
|----|-----|------|-------|----------|------------|------|-------------------------|-------|---------|
| 定置 | 伊江 | 伊江 | 22 | 3,285 | 糸道地先 | クロカワ | 3,285 | 17 | 2,340 |
| 定置 | 久米島 | 久米島 | 104 | 10,780 | 久米島 | シロカワ | 10,780 | 53 | 5,910 |
| 定置 | 八重山 | 八重山 | 33 | 11,048 | 伊良部、池間、久米島 | トビウオ | 4,153 (中) 5,823 (外) 506 | 46 | 14,689 |
| 定置 | 知念 | 知念 | 5 | 1,284 | 知念 | トビウオ | 1,049 (小) 235 | 5 | 3,008 |
| 定置 | 久米島 | 久米島 | 5 | 9,664 | 久米島 | トビウオ | (大) 780 小(混) 1,060 | 6 | 1,294 |
| 定置 | 八重山 | 八重山 | 5 | 9,664 | 八重山 | トビウオ | (大) 780 小(混) 1,060 | 22 | 3,283 |
| 定置 | 知念 | 知念 | 19 | 18,923 | 知念 | カツオ | 18,923 | 16 | 21,511 |
| 定置 | 伊良部 | 伊良部 | 9 | 11,826 | 伊良部 | カツオ | 11,826 | 16 | 21,511 |
| 定置 | 池間 | 池間 | 19 | 15,908 | 池間 | カツオ | 15,908 | 16 | 21,511 |
| 定置 | 久米島 | 久米島 | 19 | 18,923 | 久米島 | カツオ | 18,923 | 16 | 21,511 |
| 定置 | 八重山 | 八重山 | 19 | 18,923 | 八重山 | カツオ | 18,923 | 16 | 21,511 |
| 定置 | 知念 | 知念 | 36 | 95,774 | 知念 | マグロ | 95,774 | 30 | 117,266 |
| 定置 | 伊良部 | 伊良部 | 184 | 9,168 | 伊良部 | カツオ | 9,168 | 184 | 3,354 |
| 定置 | 池間 | 池間 | 184 | 2,790 | 池間 | カツオ | 2,790 | 184 | 3,354 |
| 定置 | 久米島 | 久米島 | 64 | 112 | 久米島 | カツオ | 64 | 112 | 6,335 |
| 定置 | 八重山 | 八重山 | 5,627 | 3,975 | 八重山 | カツオ | 5,627 | 3,975 | 3,975 |

漁海況旬報

(第 51 報)
 (昭和 58 年度 第 7 報)
 (昭和 58 年 6 月 1 日 ~ 6 月 10 日)

S 海況

沖縄近海の表面水温は 25 ~ 27℃ 台で、沖縄本島、宮古近海では前年とあまり変化がなかったが、八重山近海で、やや昇温した。前年と比べると 0.5℃ 前後低めであるが、全般的には平年並の水温となっている。4 月下旬ごろから、沖縄本島東岸沿岸にあって冷気帯は徐々に西方に移動しているため、今後沖縄本島北東部から徐々に水温がある見込みである。

6 月 6 日に那覇市海上保安本部が実施した喜原武輝から宝山ソノ南方面に至る表面流況観測では、宝山ソノの南に 0.5 ~ 1.2 m の北流がみられる。また、水丸ソノ南から渡嘉敷高潮には 0.3 ~ 0.6 m の西流がみられた。

県下各地の沿岸水温は那覇 24.6℃、宮古 27.5℃ (平年差 + 0.6℃)、石垣 27.4℃ (同 + 0.3℃) と那覇 27.3℃ (同 + 0.2℃)、魚釣島近海 27.1℃ (同 - 0.1℃) である。また、沖縄本島各地の地先水温は、辺土名岬先 24.6℃、瀬底島地先 25.9℃、碇谷郡屋敷地先 24.9℃、久高島地先 24.8℃、宮城島武湾嶺地先 24.3℃、真野原、渡嘉敷地先 25.1℃ で、前年と比べ 0.1 ~ 0.9℃ 昇温した。

S 漁況

定置網に入網した移動回遊性の魚種別割合は、ガーラ (アジ類) 7 隻、カツオ 18 隻、ガンツ (メアジ) 13 隻、マグロ 2 隻であった。



カジキ漁網と那覇近海のカジキ漁は延べ 62 隻出漁し、総水揚げ量は 8,553 kg で一集当りの水揚げ量は 138 kg であった。今旬のクロカワカジキの魚体の範囲は 34 ~ 346 kg、シロカワカジキ 75 ~ 252 kg であった。

糸満地先では延べ 9 隻出漁し、総水揚げ量は、2,618 kg で一集当り水揚げ量は 136 kg であった。

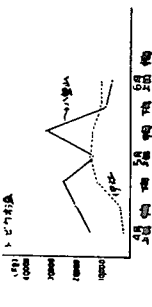
沖縄県水産試験場

〒 901-03 沖縄県糸満市西崎町 11 丁目
 TEL 09899-4-3593
 テレファックス 09899-4-8703



トビウオ浮遊網

伊り、糸満、久米島、八重山地先において延べ 48 隻出漁し、総水揚げ量は 21,867 kg であった。また一集当り平均水揚げ量は 456 kg であった。各地における一集当り平均水揚げ量は伊江 270 kg、糸満 379 kg、久米島 190 kg、八重山 2,383 kg であった。

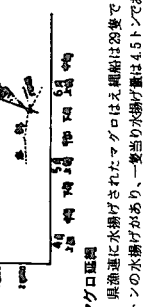


カツオ一本釣

本部漁協のカツオ漁は延べ 9 隻出漁し、6,824 kg の水揚げがあった。また、一集当り水揚げ量は 758 kg であった。伊良部漁協は延べ 76 隻出漁し、68,426 kg の水揚げがあった。一集当り水揚げ量は 900 kg であった。

池間漁協は延べ 25 隻出漁し、21,461 kg の水揚げがあった。一集当り水揚げ量は 858 kg であった。

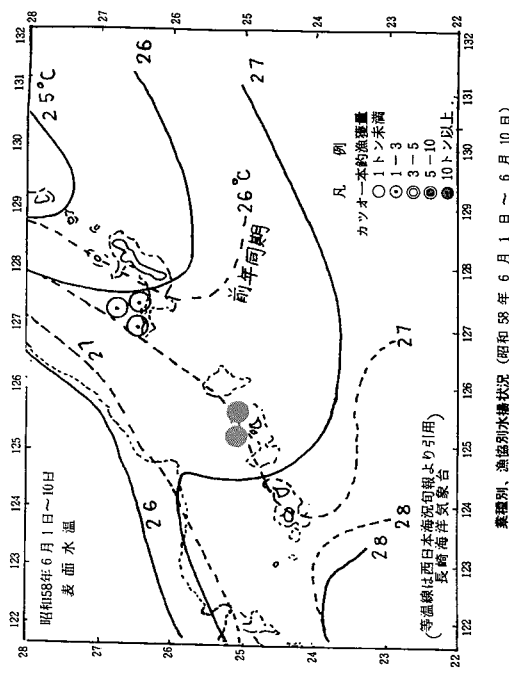
八重山漁協は延べ 9 隻出漁し、37,620 kg の水揚げがあった。一集当り水揚げ量は 470 kg であった。



マグロ漁網

果島漁網に水揚げされたマグロは、延べ 28 隻で 131.6 トンの水揚げがあり、一集当り水揚げ量は 4.5 トンであった。

その他の漁業情報
 この欄は漁業者の皆さんからの漁業情報をお持ちしております。



業種別、漁船別水揚げ状況 (昭和 58 年 6 月 1 日 ~ 6 月 10 日)

| 業種 | 所屬漁網 | 船名 | 延べ隻数 | 水揚げ量 (kg) | 漁場 | 魚種別 | 水揚げ量 (kg) | 前日 | 回数 |
|-----|------|-----|------|-----------|------|--------------------------|-----------------|----------|--------|
| カツオ | 国頭 | 頭谷念 | — | — | 頭谷念先 | カツオ 1,182 | メアジ 830 | — | — |
| カツオ | 国頭 | 念先 | — | — | 念先 | ガーラ 4,243 | マグロ 110 | — | — |
| カツオ | 糸満 | 糸満 | 19 | 2,618 | 糸満地先 | クロカワ 2,567 | その他 31 | 22 | 3,226 |
| カツオ | 糸満 | 与那国 | 62 | 8,553 | 西原中 | シロカワ 1,063 | クロカワ 7,490 | 104 | 10,780 |
| カツオ | 伊江 | 伊江 | 44 | 11,871 | 伊江島 | トビウオ 4,783 (H) 5,102 (N) | 1,411 ダツ | 33 | 11,048 |
| カツオ | 知念 | 知念 | — | — | — | — | — | — | — |
| カツオ | 糸満 | 糸満 | 4 | 1,516 | 糸満地先 | トビウオ 1,495 | ダツ 21 | — | — |
| カツオ | 久米島 | 久米島 | 7 | 1,330 | 久米島近 | トビウオ (大小混り) | 540 (H) 470 (N) | 5 | 1,284 |
| カツオ | 八重山 | 八重山 | 3 | 7,150 | 宮城島 | トビウオ (H) | 3,695 (N) | 5 | 9,064 |
| カツオ | 知念 | 知念 | — | — | — | — | — | — | — |
| カツオ | 糸満 | 糸満 | 9 | 6,824 | 伊良部 | 中 3,310 | 小 2,654 | ベリ 70 | 790 |
| カツオ | 伊良部 | 伊良部 | 76 | 68,426 | 宮城島 | 中 63,587 | 小 2,346 | ベリ 2,493 | 9 |
| カツオ | 池間 | 池間 | 25 | 21,461 | — | 大 66 | 中 19,373 | ベリ 2,000 | 22 |
| カツオ | 八重山 | 八重山 | 80 | 37,620 | 八重山近 | 中、小 33,272 | ベリ 4,348 | 19 | 18,522 |
| カツオ | 糸満 | 糸満 | 29 | 131,615 | フィリッ | クロカワ 10,913 | シロカワ 3,274 | 9 | 11,826 |
| カツオ | 糸満 | 糸満 | 29 | 131,615 | フィリッ | マカジキ 1,774 | メカジキ 7,707 | 19 | 15,908 |
| カツオ | 糸満 | 糸満 | 29 | 131,615 | フィリッ | キハダ 76,882 | メハダ 18,739 | 19 | 18,522 |
| カツオ | 糸満 | 糸満 | 29 | 131,615 | フィリッ | パンヤウ 4,880 | パンヤウ 6,888 | 36 | 9,774 |

漁海況旬報

(第 53 報)
 (昭和 58 年 6 月 21 日～6 月 30 日)

沖 縄 県 水 産 試 験 場

〒 901-03 沖縄県糸濱市西崎町 1 丁目
 TEL 09899-4-3593
 テレファックス 09899 4 8703

S 海 況

沖縄近海の海面水温は27～30℃台で旬初に比べて先島近海で2℃、沖縄本島近海で1℃上昇した。前年同期に比べて先島で2℃、沖縄本島で1℃高くなった。また先島で昨年比1℃程度上がり、沖縄本島で昨年比の水温である。当水試が6月21日～28日に実施した沖縄県西部沿岸及び金武海岸の観測の結果では、阿倍瀬浦東15マイル沖に0.5～1.1ノットの南風流、中城湾15マイル沖に0.5～1.0ノットの南風流がみられた。

県下各地の沿岸水温は那覇 26.3℃、豊平 29.0℃(当年氷 +0.7℃)、石垣 28.6℃(同+0.1℃)と那覇 28.4℃(同+0.2℃) 魚釣島近海 29.0℃(同+0.7℃)となっている。また沖縄本島各地の地底水温は初十名地先 26.2℃、瀬底島地先 27.2℃、読谷郡地先 26.9℃、久高島地先 25.1℃、宮城島武志浦地先 26.9℃、宜野保海軍基地先 26.7℃で、各地とも前旬に比べて2℃内外上昇したが、久高島では前旬に比べて0.3℃の減であった。沖縄本島の西岸では昇温が見え、

S 漁 況

定 置 網

定置網に入網した移動網漁船の漁獲割合はナカイユ(ツムブリ) 33%、カツオ 31%、ガツン(メアジ) 18%、ガラ(アジ類) 10%、マグロ 8%であった。先旬はガツン(メアジ)が多くなったが今旬は、ナカイユ(ツムブリ)が多かった。

カツニギ釣り

与那国近海のカツニギ釣りは延べ92隻出漁し総水揚量は1006kgで一隻当りの水揚量は110kgであった。今旬のクロカワカジキの魚体の観測は38～185kgであった。シロカワカジキは72～227kgであった。糸浜地先では延べ97隻出漁し、総水揚量は5,111kgで一隻当り水揚量は189kgであった。魚体の観測は41～202kgであった。

トビウオ浮網

伊江、糸濱の2地域において延べ48隻出漁し、総水揚量は19,663kgであった。一隻当り平均水揚量は405kgであった。各地における一隻当り平均水揚量は伊江 393kg、糸濱 576kgであった。なお久米島は女性の都合で出漁していない。

カツオ一本釣

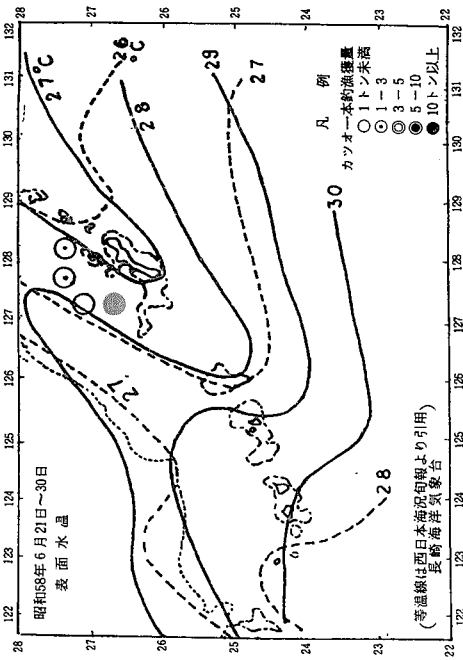
本部周辺のカツオ一本釣は延べ19隻出漁し20,629kg水揚げがあった。一隻当り水揚げ量は1,086kgであった。伊良部側は延べ73隻出漁し、68,698kg水揚げがあった。一隻当り水揚げ量は941kgであった。八重山側は延べ90隻出漁し74,839kg水揚げがあった。一隻当り水揚げ量は832kgであった。

マグロ盛網

島漁船に水揚げされたマグロは延べ24隻で103.2トン水揚げがあり、一隻当り水揚量は30トンであった。

その他の漁獲情報

この欄は漁業者の皆さんからの漁獲情報をお待ちしております。



養殖別、漁船別水揚状況 (昭和 58 年 6 月 21 日～6 月 30 日)

| 定置網 | カツニギ釣 | トビウオ浮網 | マグロ盛網 | 魚種 | 別 | 水揚量 (kg) | 頭数 (kg) | 回 | |
|--------|-------|--------|-------|------|--------|----------|---------|----------|--------|
| 定置網 | カツオ | カツオ | カツオ | カツオ | 1,990 | ナカイユ | 2,118 | メアジ | 1,151 |
| カツニギ釣 | シロカワ | シロカワ | シロカワ | シロカワ | 594 | クロカワ | 9,512 | トビウオ | 933 |
| トビウオ浮網 | 伊江 | 伊江 | 伊江 | 伊江 | 7,770 | (A) 111 | ダツ | 933 | 11,985 |
| マグロ盛網 | 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 1,788 | (大小混り) | 1,788 | トビウオ | 1,285 |
| 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 1,798 | 小 | 13,734 | シビ | 5,097 |
| 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 14,110 | 中 | 20,332 | 小 | 32,706 |
| 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 74,839 | 八重山側 | 74,839 | 中判主体大判混り | 74,839 |
| 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 9,141 | シロカワ | 9,141 | シロカワ | 247 |
| 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 798 | メカジキ | 6,396 | メカジキ | 6,396 |
| 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 72,633 | メバチ | 7,982 | メバチ | 7,982 |
| 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 5,543 | ピンナガ | 76 | ピンナガ | 76 |
| 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 34 | ノマアジ | 942 | ノマアジ | 942 |
| 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 伊良部 | 34 | ノマアジ | 942 | ノマアジ | 942 |

漁海況旬報

(第 55 報)

(昭和 58 年度 第 11 報)

(昭和 58 年 7 月 11 日 ~ 7 月 20 日)

S 海 況

沖縄近海の表面水温は 27 ~ 29°C で石垣南方でやや降温したが、全般には前旬と変化ない。前年同期とはほぼ同じ。また半年に比べて沖縄本島近海でやや低め、先島ではほぼ半年並である。

7 月 14 日の当水試の沖縄島西部沿岸の観測では、表面流は、0.1 ~ 0.7 ノットで強い流れはみられずまた、潮流は不ぞろいである。

県下各地の沿岸水温は、那覇 27.0 ~、宮古 29.8°C (半年差 + 0.7°C)、石垣 29.5°C (同 + 0.3°C)、与那国 28.9°C (同 + 0.3°C)、魚釣島近海 29.1°C (同 - 0.2°C) となっている。

また沖縄本島各地の地先水温は、瀬底島地先 28.4°C、久高島地先 27.3°C、宮城島、金武湾側地先 26.7°C、宜野湾漢那地先 27.8°C で、東海岸で 1 ~ 2°C 昇温したが以前西海岸が 1°C 近く高くなっていて、

S 漁 況

定 置 網

高島シーズン前で又型型置網が知念漁協で 2 ケ統、誌谷漁協で 1 ケ統、今旬網獲分を終了した。定置網に入網した移動回遊性の魚種別割合はガンツ (メアジ) 55%、カツオ 25%、マグロ 9%、ガーラ (アジ類) 6%、ナガイユ (ツムづり) 5% であった。

カジキ専獲

与那覇近海のカジキ漁は延べ 53 隻出漁し総水揚げ量は 5,993 kg で一隻当りの水揚げ量は 113 kg であった。今旬のクロカワカジキの碩網は 39 ~ 289 kg であった。糸満地先では延べ 24 隻出漁し総水揚げ量は 2,656 kg で一隻当りの水揚げ量は 111 kg であった。魚体の碩網は 46 ~ 246 kg であった。

トビウオ浮網

伊江、糸満の 2 地先において延べ 35 隻出漁し総水揚げ量は 13,837 kg であった。各地における一隻当り平均水揚げ量は伊江 447 kg、糸満 67 kg であった。

トビイカ釣

今旬よりトビイカ釣が開始され、知念漁協では延べ 6 隻出漁し、252 kg 水揚げがあった。一隻当り水揚げ量は 42 kg であった。

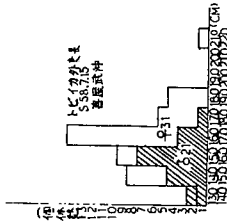
沖 縄 県 水 産 試 験 場

〒 901-03 沖縄県糸満市西崎町 1 丁目

TEL 09699-4-3593

テレファックス 09699 4 8703

与那原漁協は延べ 14 隻出漁し、338 kg 水揚げがあった。一隻当り水揚げ量は 24 kg であった。
糸満漁協は延べ 14 隻出漁し、1,600 kg 水揚げがあった。一隻当り水揚げ量は 114 kg であった。



カツオ一本釣

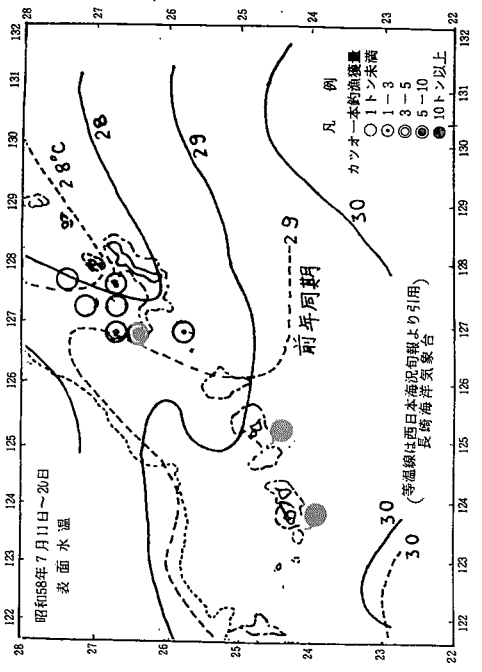
本部漁協のカツオ一本釣は延べ 18 隻出漁し 17,830 kg 水揚げがあった。一隻当り水揚げ量は 991 kg であった。伊良部漁協は延べ 111 隻出漁し 184,336 kg 水揚げがあった。一隻当り水揚げ量は 1,661 kg であった。八重山漁協は延べ 83 隻出漁し 159,939 kg 水揚げがあった。一隻当り水揚げ量は 1,819 kg であった。

マグロはえ縄

糸満近海に水揚げされたマグロは延べ 28 隻で 92.6 トンの水揚げがあった。一隻当り水揚げ量は 4.0 トンであった。

その他の漁業情報

この欄は漁業者の皆さんからの漁業情報を掲載しております。



業種別、漁協別水揚げ状況 (昭和 58 年 7 月 11 日 ~ 7 月 20 日)

| 業種 | 所産 | 漁協 | 水揚げ量 (kg) | 漁場 | 魚種 | 別水揚げ量 (kg) | 前回 |
|------|----|----|-----------|------|------|------------|-------------------|
| 定置網 | 伊江 | 知念 | 53 | 頭合 | カツオ | 709 | 1,573 |
| トビウオ | 伊江 | 知念 | 39 | 頭合 | カツオ | 142 | メアジ 1,573 |
| トビイカ | 伊江 | 知念 | 6 | 頭合 | ガーラ | 180 | マグロ 277 |
| カジキ | 伊江 | 知念 | 24 | 糸満地先 | クロカワ | 2,471 | メカジキ 185 |
| 浮網 | 伊江 | 知念 | 30 | 伊良部 | クロカワ | 5,993 | — |
| トビウオ | 伊江 | 知念 | 39 | 伊良部 | トビウオ | 7,479 | (中) 4,288 (外) 956 |
| トビイカ | 伊江 | 知念 | 6 | 伊良部 | トビイカ | 1,600 | 6 |
| カジキ | 伊江 | 知念 | 24 | 伊良部 | トビイカ | 1,600 | 6 |
| トビウオ | 伊江 | 知念 | 39 | 伊良部 | トビウオ | 433 | 3 |
| トビイカ | 伊江 | 知念 | 6 | 伊良部 | トビイカ | 252 | — |
| カジキ | 伊江 | 知念 | 14 | 伊良部 | トビイカ | 338 | — |
| トビウオ | 伊江 | 知念 | 76 | 伊良部 | トビウオ | 1,600 | 6 |
| トビイカ | 伊江 | 知念 | 18 | 伊良部 | トビイカ | 1,484 | 9 |
| カジキ | 伊江 | 知念 | 111 | 伊良部 | トビイカ | 1,484 | 9 |
| トビウオ | 伊江 | 知念 | 83 | 伊良部 | トビウオ | 13,440 | 93 |
| トビイカ | 伊江 | 知念 | 6 | 伊良部 | トビイカ | 101,222 | 小 63,889 |
| カジキ | 伊江 | 知念 | 23 | 伊良部 | トビイカ | 150,939 | 大 1,765 |
| トビウオ | 伊江 | 知念 | 32 | 伊良部 | トビウオ | 506 | 32 |
| トビイカ | 伊江 | 知念 | 33 | 伊良部 | トビイカ | 4,056 | 33 |
| カジキ | 伊江 | 知念 | 83 | 伊良部 | トビイカ | 41 | メカジキ 8,526 |
| トビウオ | 伊江 | 知念 | 111 | 伊良部 | トビウオ | 63,290 | メハチ 8,526 |
| トビイカ | 伊江 | 知念 | 6 | 伊良部 | トビイカ | 1,424 | ピンナガ 1,554 |

漁海況旬報

(第 57 報)

(昭和 58 年度 第 13 報)

(昭和 58 年 8 月 1 日 ~ 8 月 10 日)

S 海況

沖縄近海の表面水温は、23 ~ 30℃で7月下旬とあまり変化はなく、前年と比べて1℃ほど高め、平年と比べても1℃ほど高めである。

8月4日~6日に実施した沖合定線観測では、沖縄北西の黒潮の最大流速は、2.3ノットで、前年同期と比べて流は速く、沖縄北西方向約90マイル付近に強流帯がみられた。また顕著な逆流は伊豆山沖にはみられず、また久米島付近にもみられなかったが慶良島の南方に南東流がみられた。

県下各地の沖沖水温は、那覇 28.8℃、宮古 30.9℃(平年差 + 1.9℃)、石垣 30.8℃(同 + 1.7℃)、与那国 29.0℃(同 + 0.5℃)、魚釣島近海 30.1℃(同 + 0.7℃)である。また、沖縄本島各地の地表水温は、辺土名地先 28.2℃、相模島 30.3℃、久高島地先 28.6℃、室城島金武高嶺地先 28.3℃で各地ともほぼ前年並の水準である。

S 漁況

定置網

定置網に入網した漁獲別割合はナガイユ(ツムブリ) 64%、ガーラ(アジ類) 14%、カツオ 14%、カツン(メアジ) 6%、マグロ 2%であった。先旬にくらべてガワンがかなり減少した。

カジキ漁

与那国近海のカジキ漁は、延べ8隻出漁し、総水揚げ量は47尾で5,115kgで1隻当りの水揚げ量は107kgであった。今旬のクロカワカジキの魚体の範囲は45 ~ 280kgであった。糸満漁協所属のカジキ漁は延べ15隻出漁し、総水揚げ量は2,088kg(18尾)であった。魚体の範囲は47 ~ 198kgであった。

トビウオ浮網

トビウオ浮網のトビウオ漁は延べ25隻出漁し、総水揚げ量は8,516kgで一隻当りの水揚げ量は341kgであった。

トビイカ釣

今旬のトビイカ漁は知念漁協では延べ136隻出漁し5,605kg水揚げがあり一隻あたり水揚げ量は41kgであった。与那国漁協では37隻出漁し2,190kg水揚げがあり、一隻あたり59kgであった。糸満漁協では158隻出漁し4,369kg水揚げで1隻当たり28kgであった。なお糸満漁協所属船はトビイカの

沖縄県水産試験場

〒901-03 沖縄県糸満市内海町1丁目

TEL 09899-4-3593

テレファックス 09899-4-8703

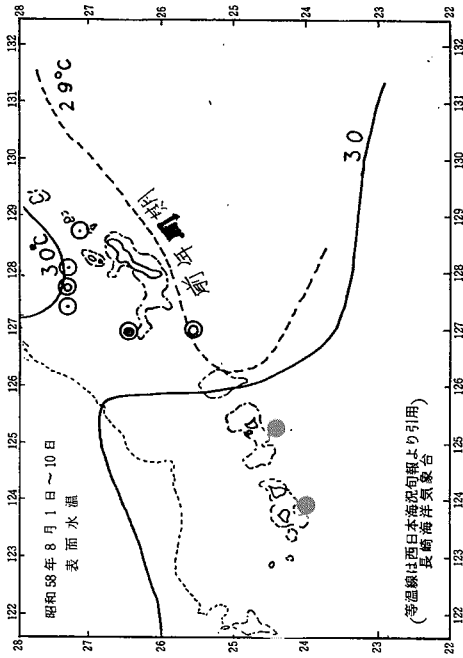
外にメカジキ(10kg前後)が1、2尾釣獲されている。

カツオ一本釣

本部漁協のカジキ漁は延べ19隻出漁し、小判主体で18,835kg水揚げがあり一隻当りの水揚げ量は991kgであった。伊良部漁協は延べ53隻出漁し、中判主体で55,269kg水揚げがあり一隻当りの水揚げ量は1,043kgであった。八重山漁協は延べ90隻出漁し、大判主体で121,444kg水揚げがあり、一隻当りの水揚げ量は1,349kgであった。

マグロはえ縄

糸満漁協に水揚げされたマグロはえ縄船は延べ17隻で872トンの水揚げであり、一隻当りの水揚げ量は51トンであった。



(等温線は西日本海況旬報より引用)
長崎海洋気象台

養殖別、漁協別水揚げ状況(昭和58年8月1日~8月10日)

| 業種 | 所属漁協 | 延べ水揚げ量(kg) | 漁場 | 魚種別水揚げ量(kg) | 前日 | 回数 |
|-----|------|------------|------|-------------|------------|------------|
| 定置網 | 国頭 | — | 国頭 | カツオ 213 | — | — |
| | 読谷 | — | 読谷 | ナガイユ 970 | メアジ 87 | — |
| | 知念 | — | 知念 | ガーラ 221 | マグロ 35 | — |
| 専カツ | 糸満 | 15 | 糸満地先 | クロカワ 2,088 | — | 5 |
| 横キ | 与那国 | 48 | 与那国 | クロカワ 5,019 | — | 110 |
| | 伊江 | 25 | 伊江島 | トビウオ 4,360 | (中) 1,758 | (中) 2,131 |
| | 知念 | — | 知念 | — | — | 42 |
| | 糸満 | — | 糸満 | — | — | — |
| | 久米島 | — | 久米島 | — | — | — |
| | 八重山 | — | 八重山 | — | — | — |
| | 知念 | 136 | 知念地先 | トビイカ 5,605 | 127 | 4,961 |
| | 与那原 | 37 | 与那原 | トビイカ 2,190 | 32 | 1,243 |
| | 糸満 | 158 | 糸満地先 | トビイカ 4,369 | 125 | 2,844 |
| | 本部 | 19 | 伊良部 | 大 1,185 | 小 17,650 | 22 |
| | 伊良部 | 53 | 伊良部 | 大 889 | 中 40,484 | 小 9,460 |
| | 池間 | — | 池間 | — | — | 98 |
| | 八重山 | 90 | 八重山 | 大 98,448 | 小 22,996 | 79 |
| | 糸満 | 121,444 | 糸満 | クロカワ 9,208 | シロカワ 222 | メカジキ 2,888 |
| | 糸満 | 87,223 | 糸満 | キハダ 63,854 | ペン地方 9,256 | シロカワ 11 |
| | 糸満 | 17 | 糸満 | ペンショウ 1,718 | — | 18 |
| | 糸満 | — | 糸満 | — | — | 105,072 |

漁海況旬報

(第58報)

(昭和58年度 第14報)

(昭和58年8月11日～8月20日)

S 海況

沖縄近海の表面水温は28～29℃台で、前旬に比べて1℃内外降進した。沖縄本島周辺では前年同月並、先島近海で1℃底めの水温となっているのが全般に年並の水温である。第11管区海上保安本部の8月15日の宮古南東と8月18日の石垣北西の海面流況観測の結果では、宮古島から南東方80マイルの間に0.7～1.2ノットの北東～南東の強い流れがみられた。また、魚釣島から南方30マイルの間には0.7～1.7ノットの北東～東の流れがみられたが7月には比べ流況は速い。

県下各地の沿岸水温は那覇27.6℃、宮古29.9℃(平均差+1.0℃)、石垣30.2℃(同+1.4℃)と那覇28.2℃(同+0.6℃)である。鹿児島近海29.6℃(同+0.2℃)である。また、沖縄本島各地の地先水温は、瀬底島地先28.0℃、久高島地先27.0℃で南地先とも前旬に比べて1～2℃降進した。

S 漁況

定置網
定置網に入網した漁種別割合はナガイユ(ツムブリ)94%、カツオ4%、ガツン(メアジ)1%、ガーラ(アジ類)1%であった。先旬同様ナガイユが多かった。

カジキ漁

那覇近海のカジキ漁は延べ29隻出漁し、総水揚げは2,800kg(29隻)で1隻当りの水揚げは96kgであった。今旬のクロカワカジキの魚体の範囲は43～223kgで1隻当り平均重量は98kgであった。

トビウオ浮網

今旬の伊江漁協のトビウオ漁は延べ17隻出漁し、総水揚げは6,401kgで1隻当りの水揚げは377kgであった。

トビイカ釣

今旬のトビイカ漁は知念漁協では延べ27隻出漁し、643kgの水揚げで1隻あたり水揚げは24kgであった。与那国漁協は13隻出漁し、324kgの水揚げで1隻あたり水揚げは25kgであった。糸島漁協では58隻出漁し、930kgの水揚げで1隻あたり水揚げは16kgであった。今旬は台風の影響等もあって出漁隻数、水揚げともに低かった。

沖縄県水産試験場

〒901-03 沖縄県糸島市南崎町1丁目

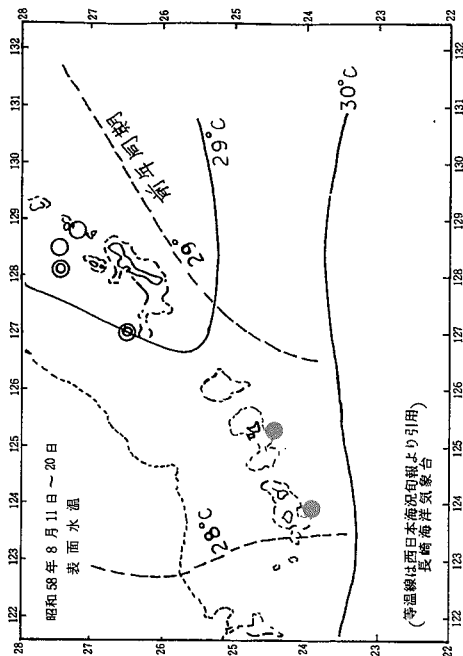
TEL 09899-4-3593

テレフックス 09899-4 8703

カツオ一本釣
本部漁協のカツオ漁は延べ13隻出漁し、小判主体で、9,605kgの水揚げがあり一隻当り水揚げは739kgであった。伊良部漁協は延べ14隻出漁し、中判主体に10,040kgの水揚げがあり一隻当り水揚げは717kgであった。八重山漁協は延べ72隻出漁し、大判主体に37,606kgの水揚げがあり、一隻当り水揚げ522kgであった。各地区とも台風の影響等もあり一隻当りの水揚げが1トン未満であり低調であった。

マグロはえ網

県漁連に水揚げされたマグロはえ網は延べ15隻で1001トンの水揚げで、一隻当り水揚げは6.7トンであった。



養種別、漁協別水揚げ状況(昭和58年8月11日～8月20日)

| 養種 | 所産漁協 | 所属協変数 | 水揚げ量(kg) | 漁場 | 魚種別水揚げ量(kg) | 前日 | 回数 |
|-----|------|-------|----------|----|-------------|----|----|
| カツオ | 那覇 | 1 | 2,830 | 頭谷 | カツオ 96 | — | — |
| カツオ | 伊良部 | 13 | 6,401 | 知念 | ナカイユ 136 | — | — |
| カツオ | 伊良部 | 58 | — | 知念 | マアジ 18 | — | — |
| カツオ | 伊良部 | 14 | — | 知念 | マガロ | — | — |
| カツオ | 伊良部 | 72 | — | 知念 | — | — | — |
| カツオ | 伊良部 | 15 | 100,103 | 知念 | — | — | — |
| カツオ | 伊良部 | 15 | 9,605 | 知念 | — | — | — |
| カツオ | 伊良部 | 15 | 37,606 | 知念 | — | — | — |
| カツオ | 伊良部 | 15 | 930 | 知念 | — | — | — |
| カツオ | 伊良部 | 15 | 643 | 知念 | — | — | — |
| カツオ | 伊良部 | 15 | 324 | 知念 | — | — | — |
| カツオ | 伊良部 | 15 | 58 | 知念 | — | — | — |
| カツオ | 伊良部 | 15 | 930 | 知念 | — | — | — |
| カツオ | 伊良部 | 15 | 671 | 知念 | — | — | — |
| カツオ | 伊良部 | 15 | 3,724 | 知念 | — | — | — |
| カツオ | 伊良部 | 15 | 27,553 | 知念 | — | — | — |
| カツオ | 伊良部 | 15 | 10,200 | 知念 | — | — | — |
| カツオ | 伊良部 | 15 | 71,065 | 知念 | — | — | — |
| カツオ | 伊良部 | 15 | 9,943 | 知念 | — | — | — |
| カツオ | 伊良部 | 15 | 4,042 | 知念 | — | — | — |
| カツオ | 伊良部 | 15 | 528 | 知念 | — | — | — |
| カツオ | 伊良部 | 15 | 4,304 | 知念 | — | — | — |
| カツオ | 伊良部 | 15 | 9,943 | 知念 | — | — | — |
| カツオ | 伊良部 | 15 | 21 | 知念 | — | — | — |

漁海況旬報

(第 59 報)

(昭和 58 年度 第 15 報)

(昭和 58 年 8 月 21 日 ~ 8 月 31 日)

S 海況

沖縄近海の表面水温は 29℃ で前旬に比べて、沖縄本島周辺でやや昇温したが、先島周辺では前旬並である。前年に比べると沖縄本島で 2℃ 程、先島周辺で 1℃ 程高くなる。また平年に比べると沖縄本島で 1℃ 程高め、先島では当年並の水温である。

第 11 管区海上保安本部が 8 月 29 日に実施した西表島から新島西方までの表面流況観測では、西表と与那国の間に 0.8 ノットの南流、また与那島の西方 15 マイル付近には 1.1 ノットの北東流がみられた。

県下各地の内洋水温は、那覇 28.3℃、宮古 28.7℃ (平年差 +0.9℃)、石垣 29.6℃ (同 +0.8℃)、与那国 28.8℃ (同 +0.3℃)、魚釣島近海 29.2℃ (同 -0.2℃) で、那覇を除いては、やや降温した。

沖縄本島各地の地先水温は辺土名地先 28.3℃、瀬底島地先 28.9℃、久高島地先 28.3℃、宮城島金武湾側地先 28.4℃ で、久高島と瀬底島地先で 1℃ 程昇温した。

S 漁況

定置網

定置網に入網した魚種別割合はカツオ 40%、ガーラ (アジ類) 38%、ガツン (メアジ) 17%、マグロ 3% であった。

カジキ漁

与那国近海のカジキ漁は延べ 57 隻出漁し、総水揚げ量は 5,987kg (67 尾) で 1 隻当りの水揚げ量は 105kg であった。今旬のクロワカワカジキの魚体の範囲は 82 ~ 210kg であった。糸満漁協所属のカジキ漁は一隻出漁し、水揚げ量は 199kg であった。

トビウオ浮置網

伊江高嶺のトビウオ漁は延べ 14 隻出漁し、総水揚げ量は 4,487kg で一隻当りの水揚げ量は 321kg であった。

沖縄県水産試験場

〒901-03 沖縄県糸満市内崎町 1 丁目
TEL 09899-4-3593
テレファックス 09899 4 8703

トビウオ釣

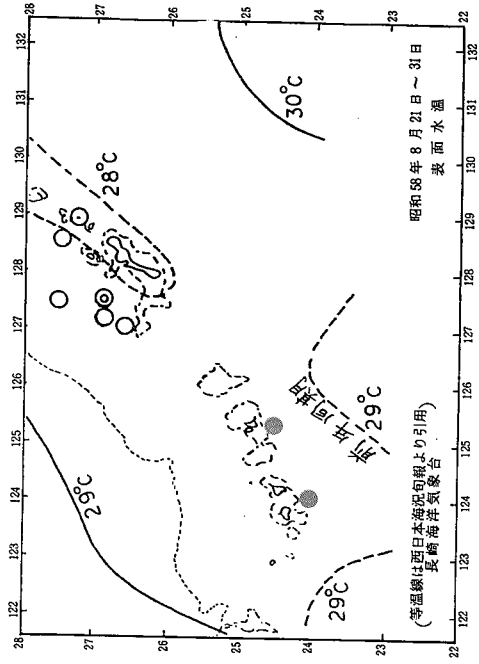
今旬のトビウオ釣は知念漁協では延べ 43 隻出漁し、1,728kg 水揚げがあり、一隻当り水揚げ量は 40kg であった。与那国漁協は 31 隻出漁し、1,276kg 水揚げがあり、一隻当り 41kg であった。糸満漁協では 52 隻出漁し、660kg 水揚げがあり、一隻当り 13kg であった。

カツオ一本釣

本部漁協のカツオ漁は延べ 12 隻出漁し、シビ主体に 6,339kg の水揚げで一隻当り水揚げ量は 488kg であった。伊良高漁協は延べ 14 隻出漁し、大中竹 5 隻に 10,040kg の水揚げで一隻当り水揚げ量は 717kg であった。八重山漁協は延べ 99 隻出漁し 65,861kg の水揚げで一隻当り 665kg であった。

マグロはえ縄

県漁連に水揚げされたマグロは天間池は延べ 14 隻で 102.2 トンで一隻当り水揚げ量は 7.3 トンであった。



業種別、漁協別水揚げ状況 (昭和 58 年 8 月 21 日 ~ 8 月 31 日)

| 業種 | 所属 | 漁協 | 延べ | 水揚げ | 魚種 | 別 | 水揚げ | 初 |
|-----|----|-----|----|---------|------|------|---------|----|
| 定置網 | 頭数 | 組合 | 隻数 | (kg) | 種別 | 重量 | (kg) | 回 |
| カツオ | 1 | 糸満 | 1 | 199 | 糸満地先 | クロカワ | 199 | — |
| カツオ | 57 | 与那国 | 57 | 5,982 | 与那国 | クロカワ | 5,323 | 29 |
| カツオ | 14 | 伊江 | 14 | 4,487 | 伊江高嶺 | トビウオ | 4,407 | 17 |
| カツオ | — | 知念 | — | — | — | — | — | — |
| カツオ | — | 久米島 | — | — | — | — | — | — |
| カツオ | — | 八重山 | — | — | — | — | — | — |
| カツオ | 43 | 知念 | 43 | 1,728 | 知念地先 | トビウオ | 1,728 | 27 |
| カツオ | 31 | 与那国 | 31 | 1,276 | 与那国 | トビウオ | 1,276 | 13 |
| カツオ | 52 | 糸満 | 52 | 660 | 糸満地先 | トビウオ | 660 | 58 |
| カツオ | 13 | 本部 | 13 | 6,339 | 伊江高嶺 | トビウオ | 6,339 | 13 |
| カツオ | 14 | 伊良高 | 14 | 10,040 | 伊良高 | トビウオ | 10,040 | 14 |
| カツオ | — | 池間 | — | — | — | — | — | — |
| カツオ | 99 | 八重山 | 99 | 65,861 | 八重山 | トビウオ | 65,861 | 99 |
| カツオ | — | 宮古 | — | — | — | — | — | — |
| カツオ | — | 石垣 | — | — | — | — | — | — |
| カツオ | — | 魚釣島 | — | — | — | — | — | — |
| カツオ | 14 | 天間池 | 14 | 102,199 | 天間池 | マグロ | 102,199 | 14 |

漁海況旬報

(第 2 報)

(昭和 58 年度 第 10 報)

(昭和 58 年 9 月 21 日 ~ 9 月 30 日)

S 海 況

沖縄近海の表面水温は、28 ~ 29°C で前旬に比べてやや降下した。前年同期に比べると先島・沖縄本島周辺ともに、1.5°C 内外高めで、平年に比べても 1°C 高値となっている。この気温傾向は 8 月中旬から続いており 9 月後半になってからも大きな降温はなく今後しばらく続くものと考えられる。

県下各地の沿岸水温は、那覇 28.1°C (宮古島 29.0°C (平年差 + 1.2°C)、石垣島 28.8°C (同 + 1.0°C) 与那国島 28.7°C (同 + 1.1°C)、魚釣島近海 29.0°C (同 + 0.8°C) と密めが続いている。

沖縄本島各地の地先水温は、辺土名地先 29.2°C 瀬底島地先 29.0°C 久高島地先 28.5°C で、各地とも前旬とあまり変化ない。

S 漁 況

定置網
定置網に入網した魚種別割合はガーラ (アジ類) 75% ガツン (メアジ) 19%、ナガイユ (ツムブリ) 4%、カツオ 3% でガーラが主体であった。

トビウオ浮網

伊豆漁船のトビウオ漁は延べ 11 隻出漁し総水揚げ量は 2,420 kg で一袋当りの水揚げ量は 220 kg であった。

トビイカ釣

今旬のトビイカ釣は知念漁船で延べ 10 隻出漁し 238 kg の水揚げで一袋当り水揚げ量は 24 kg であった。

与那原漁船は 3 隻出漁し、61 kg の水揚げで一袋当り水揚げ量は 20 kg であった。

糸満漁船では 4 隻出漁し、78 kg の水揚げで一袋当り水揚げ量は 20 kg であった。

カツオ一本釣

本部漁船のカツオ漁は延べ 9 隻出漁し、大判 15,384 kg の水揚げで一袋当り水揚げ量は 1,709 kg であった。

八重山漁船は延べ 24 隻出漁し、17,202 kg の水揚げで一袋当り水揚げ量は 717 kg であった。

沖縄県水産試験場

〒 901-03 沖縄県糸城市西崎町 1 丁目
TEL 09899-4-3593
テレファックス 09899 4 8703

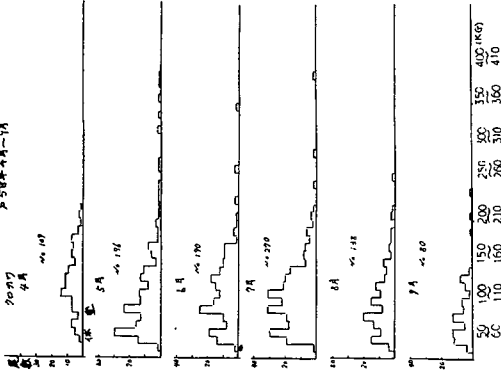
カジキ漁獲

与那国近海のカジキ漁は延べ 38 隻出漁し総水揚げ量は 3,339 kg (45 尾) で一袋当りの水揚げ量は 88 kg であった。

今旬のクロコウカジキの水揚げ量は 38 ~ 174 kg であった。糸満漁船のカジキ漁は一隻出漁し 38 kg の水揚げであった。

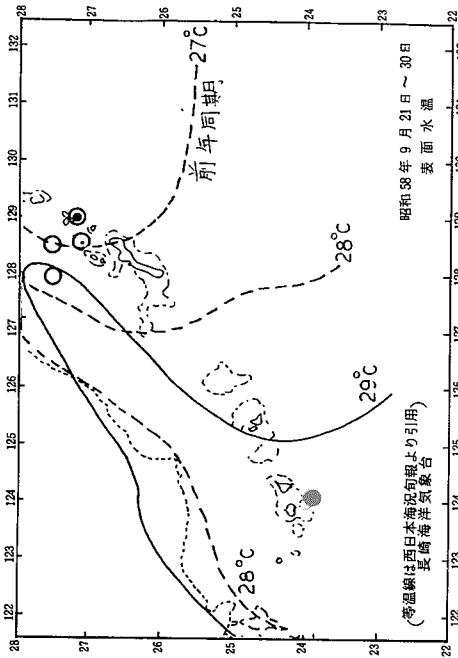
なお、与那国漁船で水揚げされた 4 月から 9 月までのクロコウカジキの体重組成は図のとおりであった。

カジキ漁獲 (伊豆漁船) の体重組成



マグロはえ縄

伊豆漁船に水揚げされたマグロは延べ 16 隻で 87.6 トンの水揚げで一袋当り水揚げ量は 5.5 トンであった。



魚種別、漁船別水揚げ状況 (昭和 58 年 9 月 21 日 ~ 9 月 30 日)

| 業種 | 所属漁協 | 船名 | 漁場 | 魚種 | 別水揚げ量 (kg) | 前日変化 (kg) | | | |
|--------|------|----|----|------|------------|-----------|--------|------|--------|
| 定置網 | 頭谷 | 知念 | 頭谷 | カツオ | 10 | ナガイユ | 13 | メアジ | 53 |
| トビウオ浮網 | 伊豆 | 伊豆 | 伊豆 | トビウオ | 34 | トビイカ | 61 | トビイカ | 78 |
| トビイカ釣 | 知念 | 知念 | 知念 | トビイカ | 238 | 知念 | 238 | トビイカ | 238 |
| カツオ一本釣 | 本部 | 本部 | 本部 | カツオ | 15,384 | 本部 | 15,384 | カツオ | 15,384 |
| マグロはえ縄 | 伊豆 | 伊豆 | 伊豆 | マグロ | 87.6 | 伊豆 | 87.6 | マグロ | 87.6 |

漁海況旬報

第63報

昭和58年度 第14報

(昭和58年10月1日～10月10日)

S海況

神楽近海の海面水温は、27～29℃で、前旬に比へて沖繩本島周辺でやや高値したほかは、あまり変化はない。同旬に前期に比へると全環に1℃内外高め、半年に比へると2～3℃程度高くなっている。
当水試が10月6日～7日に実施した沖繩島高麗郡の海面水温観測結果では、中城湾東側10～15マイルでは、1ノット以上の増減がみられ、高城湾西側では0.4～0.6ノット以上の増減がみられた。
県下各地の海面水温は、那覇27.5℃、出口33.26.6℃(平均)、年籠1.6℃、石川島29.0℃(平均)、1.9℃以上となっている。また沖繩本島各地の地底水温は、辺1.7名地底28.1℃、瀬底地底光28.1℃となっている。

S漁況

定置網
与那国近海に展開した魚網割合は、カツオ39%、ガーラ(アツメ)25%、カマシ(メアシ)18%、ナカイユ(ツムフリ)17%、マグロ1%であった。前旬に比較してカツオが増加した。

カジキ漁網

与那国近海のカジキ漁は延べ21隻出漁し、総水揚げ量は1,899kg(247℃)で一変当りの水揚げは190kgであった。今旬のクロカワカツキの魚体の地味は37～197℃であった。糸巻漁船は出漁がなかった。

トビウオ浮網

伊江漁協のトビウオ漁は延べ14隻出漁し、総水揚げ量は4,108kgで一変当りの水揚げは、293kgで前旬より39%増加した。

トビイカ釣

今旬のトビイカ釣は、間夜にあたり、また好天に恵まれ各地とも出漁回数、水揚げともに多く好釣であった。知念漁協で延べ129隻出漁し、7,368kgの水揚げで一変当り水揚げは57kgで前旬の2.4倍であった。
与那国漁協は41隻出漁し、2,584kgの水揚げで一変当り水揚げは63kgで前旬より3.2倍であった。
糸巻漁協では、延べ137隻出漁し、5,306kgの水揚げで一変当り水揚げ量は39kgで、前旬の2.0倍であった。

沖繩県水産試験場

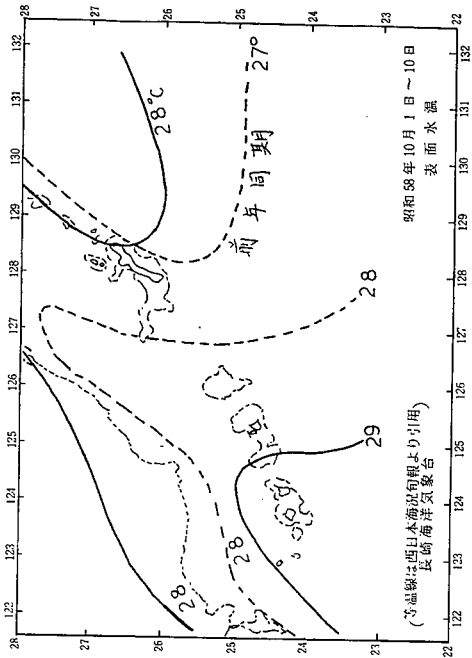
〒111 沖縄県浦添市地蔵原1丁目
TEL 098(9)14303
FAX 098(9)18712

カツオ一本釣

本島高嶺のカツオ漁は延べ14隻出漁し、9,153kg(人前)24%、小川(色多)の水揚げで一変当り、水揚げは654kgであった。前旬比38%であった。
八重山漁協は延べ15隻出漁し、15,932kgの水揚げで一変当り、水揚げは1,138kgであった。

マグロはえ縄

味漁漁に水揚げされたマグロはえ縄船は延べ12隻で、1トンの水揚げで一変当り水揚げ量は7.9トントであった。



業種別、漁協別水揚げ状況(昭和58年10月1日～10月10日)

| 所属 | 漁種 | 漁場 | 魚種 | 別 | 水揚げ量(kg) | 前変(kg) |
|-----|-----|-----|-------|--------|----------|--------|
| 定置網 | カツオ | 512 | ナカイユ | 222 | メアシ | 243 |
| 定置網 | カツオ | 329 | マグロ | 11 | | |
| 定置網 | カツオ | 0 | | | | |
| 定置網 | カツオ | 21 | シロカワ | 30 | クロカワ | 1,869 |
| 定置網 | カツオ | 14 | トビウオ | 421 | 44 | 31 |
| 定置網 | カツオ | 11 | トビウオ | 928 | 11 | 2,420 |
| 定置網 | カツオ | 0 | | | | |
| 定置網 | カツオ | 129 | 久高沖 | | | |
| 定置網 | カツオ | 41 | | | | |
| 定置網 | カツオ | 137 | 糸巻 | | | |
| 定置網 | カツオ | 14 | 大 | 2,158 | 小 | 6,995 |
| 定置網 | カツオ | 14 | 八重山 | 14,647 | 小 | 1,228 |
| 定置網 | カツオ | 12 | フィリップ | 9,846 | シロカワ | 58 |
| 定置網 | カツオ | 12 | ビン東方 | 78 | メカジキ | 3,032 |
| 定置網 | カツオ | 12 | 海城 | 60,707 | メバチ | 19,615 |
| 定置網 | カツオ | 12 | 海城 | 1,272 | ピンナガ | 95 |

漁海況旬報

(第 64 報)
 昭和 58 年度 第 20 報
 (昭和 58 年 10 月 11 日 ~ 10 月 20 日)

沖 縄 県 水 産 試 験 場

〒 901 11 沖縄県糸満市南崎町 1 丁目
 TEL 398990・1 3593
 398930・1 6793

S 海 況

沖縄近海の表面水温は 27~28°C で南向に比べて、全般に 1°C 程度低かった。
 前半旬間に比べて 1°C 内外高め、半旬に比べて 2~3°C 程度高くなった。この高温現象は 8 月中旬から続いている。
 沖ノ島周辺の表面水温は 27.3°C、宮古島 28.2°C (平年 + 2.1°C)、石垣島 28.5°C (同 + 2.2°C)、与那国島 27.9°C (同 + 1.2°C) といずれも高めている。また、沖縄本島各地の地表水温は、辺土名 27.8°C、嶺波島 27.4°C で南向に比べてやや降降した。

S 量 網

漁船に入漁した魚船別割合は、カツオ 40%、サガユ 30%、カツン (メアジ) 18%、カーラ 7% である。先切同様カツオが主体であった。

カジキ現況

与那国近海のカジキ漁は延べ 44 隻出漁し総水揚げ量は 4,111 kg (1t 48kg) で一隻当りの水揚げ量は 93kg であった。
 今回のクロカジキの魚体の範囲は 32~35kg であった。シロカジキは 37~71kg であった。
 糸満漁船のカジキ漁は一隻出漁し、85kg の水揚げであった。

トビウオ浮網網

伊江漁船のトビウオ漁は、延べ 20 隻出漁し、総水揚げ量は 5,322kg で一隻当りの水揚げ量は 266kg であった。

トビイカ釣

今旬のトビイカ釣は日夜に人里前旬に比べ出漁隻数、水揚げともに少なかった。
 知念漁船で延べ 107 隻出漁し、4,429kg の水揚げで一隻当たり水揚げは、41kg であった。
 与那国漁船は、37 隻出漁し、1,788kg の水揚げで一隻当たり水揚げ量は 49kg であった。
 糸満漁船では 56 隻出漁し、1,685kg の水揚げで一隻当たり水揚げ量は 30kg であった。

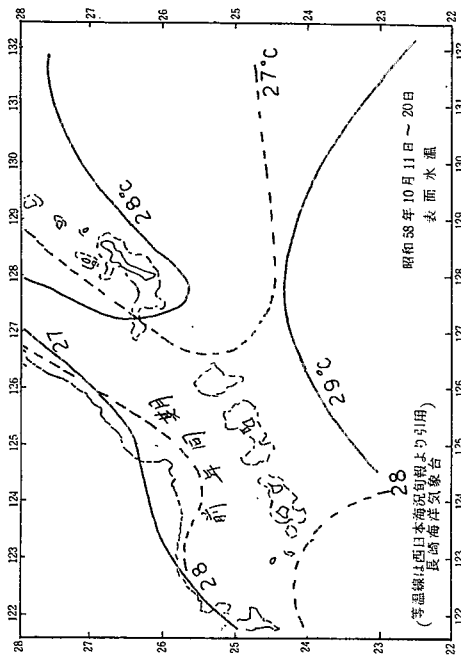
カツオ一本釣

本部漁船のカツオ漁は延べ 11 隻出漁し、5,216kg (大 6%、小 96%) の水揚げで一隻当たり水揚げ量は 474kg であった。

八重山漁船は、前旬 (10月 10日) で終漁した。

マグロはえ縄

具通漁に水揚げされたマグロはえ縄船は、延べ 13 隻で 107.6 トンの水揚げで一隻当たり水揚げ量は、8.3 トンであった。



等温線は日本気象協会より引用
 長崎海洋気象台
 昭和 58 年 10 月 11 日 ~ 10 月 20 日
 表面水温

養殖別、漁船別水揚げ状況 (昭和 58 年 10 月 11 日 ~ 10 月 20 日)

| 業種 | 所産 | 属延べ | 出漁隻数 | 水揚げ量 (kg) | 魚種 | 別水揚 | 重量 (kg) | 前旬 | 回数 |
|-----|-----|-----|-------|-----------|-----|--------|---------|--------|-------|
| カツオ | 知念 | 1 | 107 | 4,429 | カツオ | 390 | 347 | メアジ | 174 |
| カツオ | 与那国 | 44 | 4,111 | 3,963 | カツオ | 72 | 0 | 0 | 0 |
| カツオ | 伊江 | 20 | 5,322 | 3,910 | カツオ | 148 | 3,963 | 21 | 1,899 |
| カツオ | 知念 | 37 | 1,788 | 614 | カツオ | 708 | 614 | 14 | 4,108 |
| カツオ | 糸満 | 56 | 1,685 | 0 | | | | | |
| カツオ | 本部 | 11 | 5,216 | 0 | | | | | |
| カツオ | 伊良部 | 0 | 0 | 0 | | | | | |
| カツオ | 池間 | 0 | 0 | 0 | | | | | |
| カツオ | 八重山 | 0 | 0 | 0 | | | | | |
| カツオ | 知念 | 107 | 4,429 | 128 | | | | 7,366 | |
| カツオ | 与那国 | 37 | 1,788 | 41 | | | | 2,584 | |
| カツオ | 糸満 | 56 | 1,685 | 137 | | | | 5,306 | |
| カツオ | 本部 | 11 | 5,216 | 14 | | | | 9,153 | |
| カツオ | 伊良部 | 0 | 0 | 0 | | | | 0 | |
| カツオ | 池間 | 0 | 0 | 0 | | | | 0 | |
| カツオ | 八重山 | 0 | 0 | 0 | | | | 0 | |
| カツオ | 知念 | 107 | 4,429 | 14 | 知念 | 11,840 | 207 | 15,932 | |
| カツオ | 与那国 | 37 | 1,788 | 14 | 与那国 | 11,840 | 207 | 15,932 | |
| カツオ | 糸満 | 56 | 1,685 | 14 | 糸満 | 11,840 | 207 | 15,932 | |
| カツオ | 本部 | 11 | 5,216 | 14 | 本部 | 11,840 | 207 | 15,932 | |
| カツオ | 伊良部 | 0 | 0 | 14 | 伊良部 | 11,840 | 207 | 15,932 | |
| カツオ | 池間 | 0 | 0 | 14 | 池間 | 11,840 | 207 | 15,932 | |
| カツオ | 八重山 | 0 | 0 | 14 | 八重山 | 11,840 | 207 | 15,932 | |
| カツオ | 知念 | 107 | 4,429 | 12 | 知念 | 11,840 | 207 | 15,932 | |
| カツオ | 与那国 | 37 | 1,788 | 12 | 与那国 | 11,840 | 207 | 15,932 | |
| カツオ | 糸満 | 56 | 1,685 | 12 | 糸満 | 11,840 | 207 | 15,932 | |
| カツオ | 本部 | 11 | 5,216 | 12 | 本部 | 11,840 | 207 | 15,932 | |
| カツオ | 伊良部 | 0 | 0 | 12 | 伊良部 | 11,840 | 207 | 15,932 | |
| カツオ | 池間 | 0 | 0 | 12 | 池間 | 11,840 | 207 | 15,932 | |
| カツオ | 八重山 | 0 | 0 | 12 | 八重山 | 11,840 | 207 | 15,932 | |

漁海況旬報

沖縄県水産試験場

〒700 03 中城町読水町4200 11 日
TEL 09839-4 3593
FAX 09839-1 8713

第 65 報
昭和58年度 第21報
昭和58年10月21日～10月31日

S 海況

沖縄近海の水表面水温は27～28℃で前旬とほぼおなじ変化がない。前旬と同様に、全般に1～2℃高め、半年に比べる、2～3℃高めとなっている。今後この高温傾向は続くものと考えられる。

県上各地の沿岸水温は那覇 26.4℃、宮古島 27.2℃、平年差 2.1℃、石垣島 27.1℃、同 1.7℃、与那国島 27.2℃、同 1.0℃と各地とも、高温傾向が際立っている。

沖縄本島各地の地底水温は、週より 26.9℃、潮感 26.1℃で前旬に比べ1℃程降温した。

S 漁況

定置網

与那国近海のカジキ漁は、カツナ(メアジ) 44%、チーラ(アジ類) 32%、ナカイユ(ツムズリ) 15%、カツオ9%であった。

カジキ漁

与那国近海のカジキ漁は延べ27隻出漁し、総水揚げは、2,694kg (33t) で一隻当たりの水揚げは、100kgであった。

今旬のクロカワカジキの魚体の範囲は、24～195kgであった。シロカワカジキは、43～274kgであった。

トビウオ浮網

伊江高嶺のトビウオ漁は、延べ8隻出漁し総水揚げは、1,816kg で一隻当たりの水揚げは、227kgであった。

トビイカ釣

今旬のトビイカ釣は、前旬同様月夜に当たり、全般的に出漁隻数が少なかった。

知念漁協で延べ43隻出漁し、1,653kgの水揚げで一隻当たり水揚げは、38kgであった。

与那原漁協は、16隻出漁し760kgの水揚げで一隻当たり

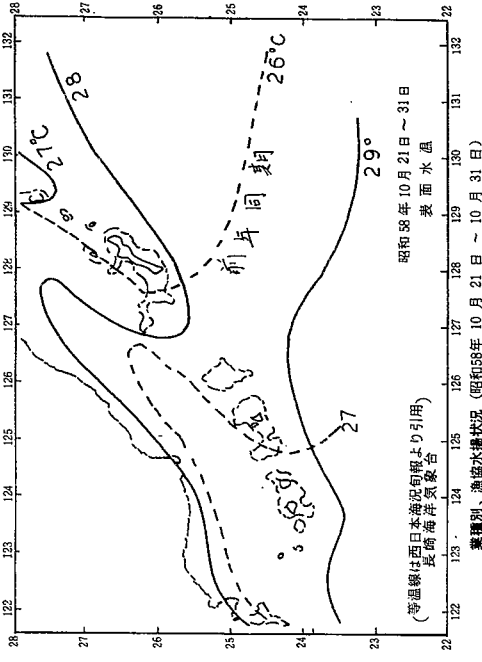
水揚げは48kgであった。
水産試験場では、18隻出漁し542kgの水揚げで一隻当たり水揚げは30kgであった。

カツオ一本釣

本部漁協のカツオ漁は、延べ8隻出漁し7,470kg (大判7%、小判93%)の水揚げで一隻当たり水揚げは934kgであった。

マグロはえ縄

県漁協に水揚げされたマグロはえ縄船は、延べ22隻で98.1トンの水揚げで一隻当たり水揚げは4.5トンであった。



業種別、漁獲水揚げ状況 (昭和58年10月21日～10月31日)

| 業種 | 延べ水揚げ量 (kg) | 漁場 | 魚種別 | 水揚げ量 (kg) | 前日 |
|--------|-------------|------|---|--|----|
| 所産漁協 | 0 | 国知地 | カツオ 95 チーラ 356 | メアジ 481 | - |
| 定置網 | 2,694 | 伊江 | シロカワ 385 トビウオ (大) 170 (小) 920 | マグロ 0 | - |
| 浮網 | 1,816 | 知念 | トビウオ (大) 170 (小) 920 | マグロ 0 | - |
| トビイカ釣 | 1,653 | 伊江高嶺 | トビウオ (大) 170 (小) 920 | マグロ 0 | - |
| カツオ一本釣 | 7,470 | 本部 | カツオ 95 チーラ 356 | メアジ 481 | - |
| マグロはえ縄 | 98,101 | 県漁協 | カツオ 8,617 メカジキ 36 キハタ 58,759 パンショウ 740 | シロカワ 888 メカジキ 3,869 メバチ 19,480 ピンナガ 5,712 | 13 |

漁海況旬報

(第 67 報)
 (昭和 58 年度 第 25 報)
 (昭和 58 年 11 月 11 日 ~ 11 月 20 日)

S 海 況

沖縄近海の表面水温は 25 ~ 26°C で、前旬に比べて 1°C 程度高かったが、以前として水温は低めで、前年同期に比べて 1°C 程度、平年に比べても 1°C 程度高くなっている。

県下各地の沿岸水温は、那覇 24.4°C、宮古島 23.8°C (平年 ± 0°C)、石垣島 24.6°C (同 - 0.5°C)、与那国島 (同 + 0.3°C)、魚釣島近海 26.0°C (同 + 0.9°C) で徐々に平年値に近づいている。

沖縄本島各地の地表水温は、瀬底島地光 24.9°C で、前旬と変化はない。

S 漁 況

定 置 網

定置網に入網した魚種別割合はマグロ 37%、ガンフアジ) 27%、カツオ 22%、ガーラ (アジ類) 14% であった。

カ ジ キ 曳 網

与那国漁海のカジキ漁は延べ 30 隻出漁し、総水揚げ量は 2,977 kg (35 艇) で一隻当たりの水揚げ量は 99 kg であった。今旬のクロカワカジキの魚体の範囲は、38 ~ 175 kg であった。シロカワカジキは 1 尾で 387 kg であった。

ト ビ イ カ 釣

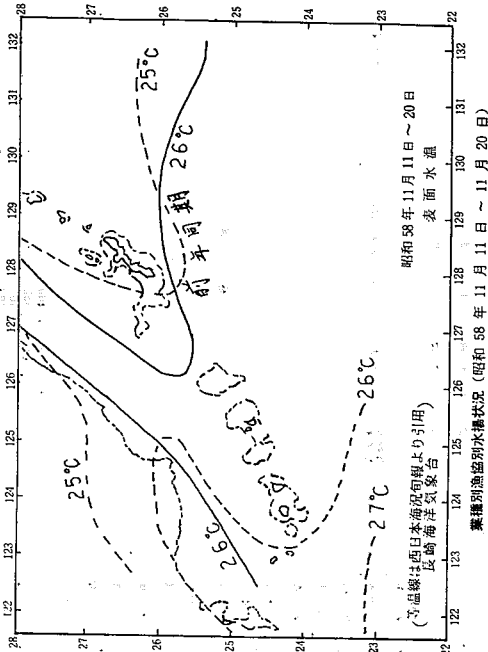
今旬のトビイカ釣は、知念漁協で延べ 6 隻出漁し、220 kg の水揚げで一隻当たり水揚げ量は 37 kg であった。与那国漁協は 5 隻出漁し、120 kg の水揚げで一隻当たり水揚げ量は 24 kg であった。
 糸原漁協は延べ 6 隻出漁し、185 kg の水揚げで一隻当たり水揚げ量は 31 kg の水揚げであった。

沖 縄 県 水 産 試 験 場

〒 901-03 沖縄県糸原市池崎町 111 号
 TEL 09899-7133 (3 線)
 FLEX 09899-7500 (3 線)

マ グ ロ は る 網

糸原漁協は水揚げされたマグロは種類別には延べ 22 隻で 116.7 トンの水揚げで一隻当たり水揚げ量は 5.3 トンである。



業種別漁協別水揚げ状況 (昭和 58 年 11 月 11 日 ~ 11 月 20 日)

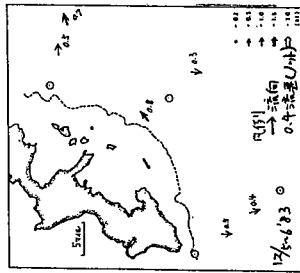
| 業種 | 所産 | 定置 | 網 | カ | ジ | キ | 曳 | 網 | ト | ビ | イ | カ | 釣 | 本 | 糸 | 原 | 糸 | 原 | 漁 | 協 | 池 | 重 | 山 | 海 | 産 | 試 | 験 | 場 | 計 | 水 | 揚 | げ | 量 | (kg) | 前 | 回 | 変 | (kg) | |
|----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|------|---|---|---|------|--|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

漁海況旬報

(第 69 報)
 (昭和 58 年度 第 25 報)
 (昭和 58 年 12 月 1 日 ~ 12 月 10 日)

海況

沖縄近海の表面水温は、23~24℃台で、前旬に比べて1~2℃降温した。ほぼ前年同期並。平年並の水温となり、8月中旬以降持続していた高温傾向は、今旬になってようやく終わったようで、今後平年並の水温が続くと思われる。当水試が12月6日に実施した沖縄島南東岸沿岸の観測では、表面流は最大0.8ノット程度で全輸に流速は遅く、流向はばらばらである。



県下各地の沿岸水温は、那覇 22.2℃、宮古島 21.1℃(平年並-0.8℃)、石垣島 22.5℃(同+0.3℃)、与那国島 23.7℃(同-0.2℃)、魚釣島近海 23.3℃(同-0.5℃)となっている。
 また、沖縄本島の棚底高水温 23.5℃となっている。

漁況

定置網

定置網に入網した魚種割合は、カツオ51%、ガン(メアジ)28%、マグロ14%、ガー(アツメ)11%、ナガイユ(ツムブリ)2%であった。前旬同様カツオが主体を占めた。

沖縄県水産試験場

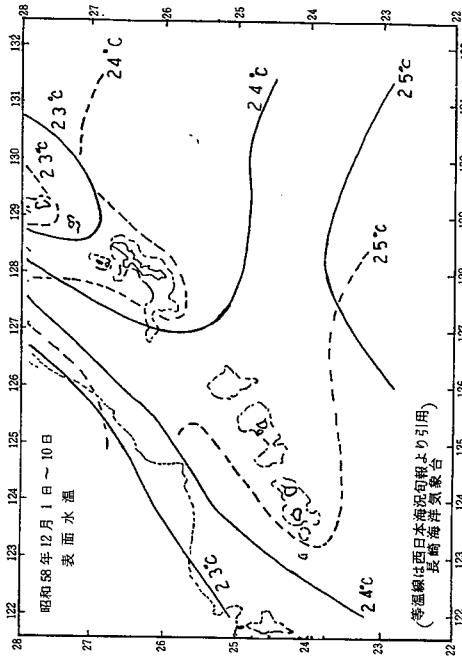
〒901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目
 TEL 09899-4-3593
 テレファックス 09899 4 8703

カジキ真鱈

与那国近海のカジキ真鱈は、延べ33隻出漁し総水揚量は、3,746kg(37尾)で一隻当たりの水揚量は、114kgであった。今旬のクロカワカジキの魚体の範囲は50~199kgであった。シロカワカジキは56~131kgであった。

マグロは元鱈

県漁運に水揚げされたマグロは元鱈船は延べ24隻で143.0トンの水揚げで一隻当たり水揚量は6.0トンの前旬の35%の増加で好漁であった。



魚種別、漁獲別水揚状況 (昭和 58 年 12 月 1 日 ~ 12 月 10 日)

| 業種 | 所産魚種 | 延べ隻数 | 水揚量(kg) | 漁場 | 魚種別 | 水揚量(kg) | 前旬 |
|-----|------|------|---------|--------|-------------|------------|------------|
| 定置網 | 知念 | — | — | 知念 | カツオ 181 | メアジ 81 | — |
| | | | | 地先 | ガーラ 39 | マグロ 50 | — |
| 曳網 | 糸島 | — | — | — | — | — | — |
| | 与那国 | 33 | 3,746 | 高橋中馬ノ本 | シロカワ 263 | クロカワ 3,483 | — |
| | 伊江 | — | — | — | — | — | 4 371 |
| | 知念 | — | — | — | — | — | — |
| | 糸島 | — | — | — | — | — | — |
| | 久米島 | — | — | — | — | — | — |
| | 八重山 | — | — | — | — | — | — |
| | 知念 | — | — | — | — | — | — |
| | 与那原 | — | — | — | — | — | — |
| | 糸島 | — | — | — | — | — | — |
| | 伊良部 | — | — | — | — | — | — |
| | 池間 | — | — | — | — | — | — |
| | 八重山 | — | — | — | — | — | — |
| えび | 県漁運 | 24 | 143,023 | フィリップ | クロカワ 32,816 | シロカワ 363 | 19 113,501 |
| | | | | マカシキ | マカシキ 132 | メバチ 4,873 | |
| | | | | キハダ | 69,813 | メバチ 31,889 | |
| | | | | パシヨウ | 426 | ピンナガ 2,711 | |

漁海況旬報

(第 70 報)

(昭和 58 年度 第 26 報)

(昭和 58 年 12 月 11 日 ~ 12 月 20 日)

沖繩県水産試験場

〒 901-03 沖縄県糸満市西崎町 1-1-1

TEL 09899-4-3593

テレファックス 09899-4-8703

S 海況

沖縄近海の表面水温は、23~24℃台で、沖縄島周辺で前旬と変化なく先島周辺でやや降温した。ほぼ前年並の水温平年に比べて1℃内外高めとなっている。

県下各地の沿岸水温は、那覇 22.1℃、宜古島 21.4℃(年平均 + 0.1℃)、石垣島 22.3℃(同 + 0.6℃)、与那国 23.4℃(同 + 0.1℃)、魚釣島近海 23.6℃(同 + 0.1℃)と、各地とも前年並となっている。

また沖縄本島の離島地先では 22.5℃で前旬より1℃降温した。

S 漁況

定置網

定置網に入網した魚種別割合は、カツオ67%、マグロ23%、ガツン(メアジ)9%、ガーラ(アジ類)1%であった。

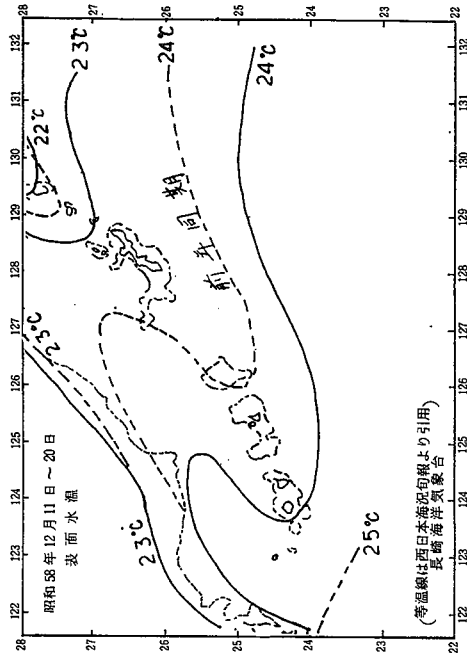
カジキ鳥網

与那国近海のカジキ鳥網は、延べ29隻出漁し、総水揚げ量 3,478kg(29尾)で一隻当りの水揚げ量は 120kgであった。今旬のクロカワカジキの魚体の範囲は、52~251kgであった。

シロカワカジキは1隻で197kgであった。

マグロはえ網

県内連に水揚げされたマグロは、本網は、延べ20隻で、113.4トンの水揚げで一隻当り水揚げ量は 5.7トンであった。



業種別、漁協別水揚げ状況(昭和 58 年 12 月 11 日 ~ 12 月 20 日)

| 業種 | 所属漁協 | 定置網 | 延べ水揚げ量(kg) | 魚種別水揚げ量(kg) | 前日 | 回数 |
|-----|------|-----|------------|--------------|----|---------|
| カツキ | 知念 | 知念 | — | カツオ 171 | — | — |
| カツキ | 知念 | 地先 | — | ガーラ 2 | — | — |
| カツキ | 水産 | — | — | — | — | — |
| カツキ | 与那国 | 29 | 3,478 | シロカワ 197 | 33 | 3,746 |
| カツキ | 伊江 | — | — | — | — | — |
| カツキ | 知念 | — | — | — | — | — |
| カツキ | 糸満 | — | — | — | — | — |
| カツキ | 久米島 | — | — | — | — | — |
| カツキ | 八重山 | — | — | — | — | — |
| カツキ | 知念 | — | — | — | — | — |
| カツキ | 与那原 | — | — | — | — | — |
| カツキ | 本部 | — | — | — | — | — |
| カツキ | 伊良部 | — | — | — | — | — |
| カツキ | 本間 | — | — | — | — | — |
| カツキ | 釣オ | — | — | — | — | — |
| カツキ | 八重山 | — | — | — | — | — |
| カツキ | 伊波 | 20 | 113,406 | フィリップ 30,888 | 24 | 143,023 |
| カツキ | 伊波 | — | — | シロカワ 552 | — | — |
| カツキ | 伊波 | — | — | メバチ 16,994 | — | — |
| カツキ | 伊波 | — | — | キハダ 49,576 | — | — |
| カツキ | 伊波 | — | — | バシロウ 247 | — | — |
| カツキ | 伊波 | — | — | ヒシナガ 16,926 | — | — |

漁海況旬報

(第 71 報)
 (昭和 58 年度 第 27 報)
 (昭和 58 年 12 月 21 日 ~ 12 月 31 日)

沖縄県水産試験場

〒 901-03 沖縄県糸島市西崎町 1 丁目
 TEL 09899-4-3593
 テレファックス 09899 4 8703

S 海況

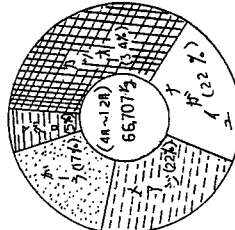
沖縄近海海面は、22~23℃で全較に0.5℃程降温した。
 前年同期に比べて0.5℃、平年に比べて1℃内外高めとなっている。
 県下各地の沿岸水温は、那覇で20.1℃、宮古島 19.4℃(平年差-1.6℃)、石垣島 21.1℃(同-0.3℃)、与那国島 22.3℃(同-0.9℃)、魚崎島近海 22.7℃(同-0.3℃)となっている。
 また、沖縄島の瀬底島地先では、21.3℃で前旬より1℃程降温した。

S 漁況

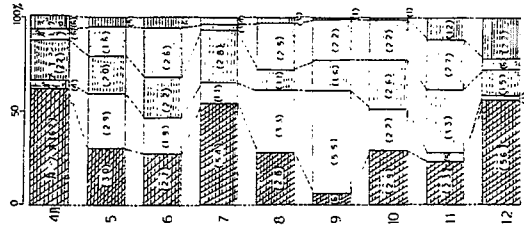
定置網
 定置網に入網した魚種別割合は、カツオ49%、マグロ37%、ガワン(メアジ)11%、ガーラ(アジ類)3%であった。

漁況概観

今年度の4月から12月までの定置網(知念、諸念、西園)の主要魚種(カツオ、ナガイユ、メアジ、ガーラ、マグロ)の総水揚げ量は、66,707トンであった。
 (注) カツオ:1.5%、ヒラソウダ: カツオ34%、ナガイユ:22%、メアジ22%、ガーラ17%、マグロ5%、であった。



月別魚種別割合



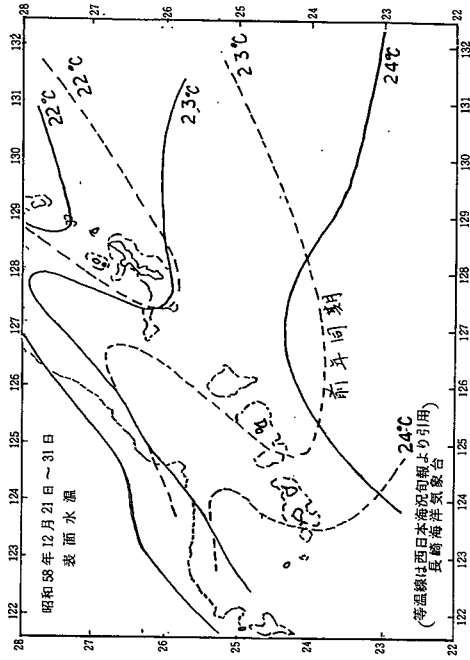
月別魚種別にみるとカツオは、4、7、12月に多く、ナガイユ(ツム)は、8、9月、ガワン(メアジ)は、9、10月、ガーラ(アジ類)は、6月と8~11月、ツクロは、11、12月に多く漁獲されている。

カジキ真鯛

与那国近海のカジキ真鯛は、従へ3隻出漁し、総水揚げ量は326kg(3尾)で一隻当たりの水揚げ量は、109kgであった。
 今旬は、クロコウカワカジキのみで魚体の範囲は、60~138kgであった。

マグロはズガ

県漁連に水揚げされたマグロはズガ船は、従へ35隻で250.5トンの水揚げで一隻当たり水揚げ量は、7.2トンで好漁であった。



養種別・漁場水揚げ状況 (昭和58年 12 月 21 日 ~ 12 月 31 日)

| 養種 | 所属 | 送達 | 水揚げ | 魚種 | 別水揚げ | 量 (kg) | 前 | 回 |
|-----|-----|----|---------|-----|--------|--------|-------|---------|
| 定置網 | 知念 | - | - | 知念 | 96 | ナガイユ | 0 | メアジ |
| 或カツ | 糸島 | 0 | - | 与那国 | - | - | - | - |
| 浮ト | 伊江 | 3 | 326 | 西園 | 0 | クロコウ | 0 | 3,478 |
| 敷ワ | 知念 | - | - | 伊江 | - | - | - | - |
| 網オ | 糸島 | - | - | 久米島 | - | - | - | - |
| トビ | 知念 | - | - | 八重山 | - | - | - | - |
| カ | 与那国 | - | - | 知念 | - | - | - | - |
| 約 | 糸島 | - | - | 与那国 | - | - | - | - |
| カツ | 糸島 | - | - | 糸島 | - | - | - | - |
| オ | 伊江 | - | - | 伊江 | - | - | - | - |
| 本 | 糸島 | - | - | 池間 | - | - | - | - |
| 約 | 八重山 | - | - | 八重山 | - | - | - | - |
| はア | 糸島 | 35 | 250,452 | 糸島 | 62,213 | シロコウ | 1,183 | |
| えグ | 伊江 | 35 | 250,452 | 伊江 | 62,213 | シロコウ | 1,183 | |
| 横口 | 海城 | 35 | 250,452 | 海城 | 62,213 | シロコウ | 1,183 | |
| | | | | | | メチル | 22 | 113,408 |
| | | | | | | ツム | 27 | |
| | | | | | | ツム | 28 | |
| | | | | | | ツム | 29 | |
| | | | | | | ツム | 30 | |
| | | | | | | ツム | 31 | |
| | | | | | | ツム | 32 | |
| | | | | | | ツム | 33 | |
| | | | | | | ツム | 34 | |
| | | | | | | ツム | 35 | |
| | | | | | | ツム | 36 | |
| | | | | | | ツム | 37 | |
| | | | | | | ツム | 38 | |
| | | | | | | ツム | 39 | |
| | | | | | | ツム | 40 | |

漁海況旬報

(第72報)

(昭和59年度第28報)

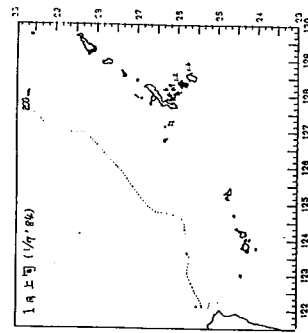
(昭和59年1月1日～1月10日)

沖繩県水産試験場

〒901-03 沖縄県糸島市西崎町1丁目
TEL 09899-4-3593
テレフックス 09899-4 8703

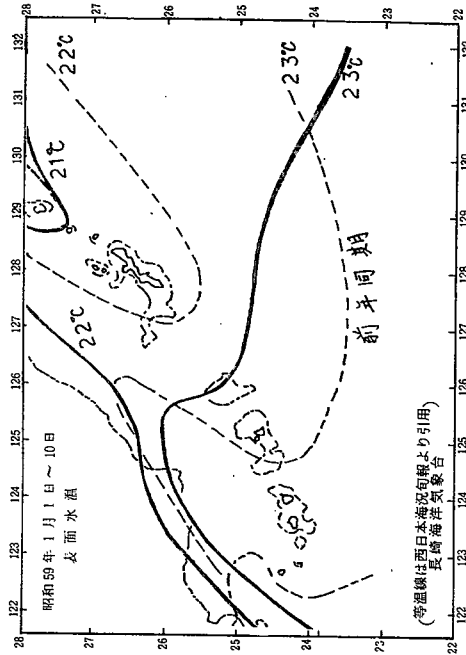
S海況

沖縄近海の海面水温は、22～23℃台で前旬(12月下旬)に比べてやや降温し、沖縄本島周辺では22℃台となった。前年同期に比べると全般に0.5℃高め、また半年に亘り1℃程度高めの水温となっている。1月7日の第11観区海上原安本部の沖縄本島南東方の表面流速観測では、西原武御の南東40マイル付近に1.2～1.6ノットの強い北北東の流れがみられた。(図参照)



県下各地の沿岸水温は、那覇20.3℃、宮古島18.8℃(平年差-1.5℃)、石垣島20.3℃(同-0.4℃)、与那国島22.0℃(同-0.6℃)、魚釣島近海22.3℃(同±0.0℃)となっている。

沖縄本島各地の地表面水温は、沖縄島地先20.6℃で前旬に比べて0.7℃降温した。



(等温線は西日本海況旬報より引用)
底層海況報告

S漁況

今旬は海上風警報が4日間、波浪注意報が5日間と季節風の影響が強く出漁が少なかった。

定置網

定置網に入網した魚種別割合はガツン(メアジ)81%、カツオ16%、ガーラ(アジ類)3%であった。今旬に入ってガツンがかなりふえた。

カジキ曳網

今旬は与那国海域、糸島前島とも出漁数はなかった。

マグロはえ縄

県漁連に水揚げされたマグロはえ縄網は延べ14隻で、1101トンの水揚げで一隻当たり水揚げ量は7.9トンであった。魚種別割合をみるとキハタが48%、クロカワカジキ29%、メバチ17%、その他6%であった。

業種別、漁船別水揚げ状況(昭和59年1月1日～1月10日)

| 業種 | 所産 | 網延べ水揚げ数(隻) | 漁場 | 魚種別水揚げ量(t) | 前回数 |
|-----|-----|------------|---------|--|------------|
| 定置網 | 知念 | — | 知念 | カツオ 97 ナガユ 0 メアジ 478 | — |
| | 知念 | — | 地先 | ガーラ 17 マグロ 0 | — |
| 曳網 | 糸島 | — | 西原武御 | — | — |
| イカ | 与那国 | — | 鳥ッヌ | シロカワ | — |
| | 伊江 | — | — | クロカワ | 3 308 |
| 沖網 | 知念 | — | — | — | — |
| ウツ | 糸島 | — | — | — | — |
| 沖網 | 久米島 | — | — | — | — |
| トビ | 知念 | — | — | — | — |
| イカ | 与那原 | — | — | — | — |
| 一カ | 糸島 | — | — | — | — |
| 本ツ | 本部 | — | — | — | — |
| 約オ | 池間 | — | — | — | — |
| | 八重山 | — | — | — | — |
| はア | 糸島 | — | — | — | — |
| えグ | 糸島 | 14 | 110.087 | 513 シロカワ 2,869 シロカワ 2,880 メカジキ 52,993 キハタ 462 パシヤウ | 35 250,452 |
| 磯口 | 糸島 | — | — | — | — |

漁海況旬報

(第74報)

(昭和59年度第30報)

(昭和59年1月21日～1月31日)

沖縄県水産試験場

〒901 03 沖縄県糸島市西崎町1111
TEL 09899-4 3543
テレックス 08899 4 8703

S 海況

沖縄近海の表面水温は、21～23℃台で前旬とあまり変化はない。前年同期に比べてやや低め、平年に比べて1℃程高めとなっている。以前高めに経過している。

県下各地の沿岸水温は秋瀬19.9℃、宮古島19.6℃(半年差-0.3℃)、石垣島20.6℃(同+0.3℃)、与那国島21.8℃(同-0.5℃)となっている。

また、沖縄本島では、海底地先19.0℃で前旬に比べて2℃程低い。

S 漁況

今旬の海上は、北及び北東の季節風が連日強く、波浪注意警報や海上風警報等があった。

定置網

定置網に入網した魚種別割合は、ガツン(メアジ)79%、カツオ18%、マグロ2%、ガーラ(アジ類)1%であった。

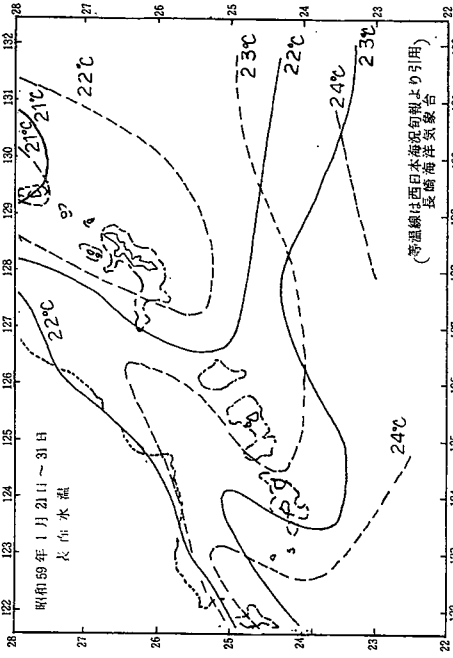
カジキ曳網

与那国近海のカジキ漁は今旬はシケのため出漁がなかった。

マグロはえ縄

県漁連に水揚げされたマグロはえ縄船は延べ19隻で148.8トンドで1隻当たり水揚げ量は、7.8トンドで好節であった。

種別割合はキハダ26%、クロコウ26%、メバチ29%、ビンナガ8%、メカジキ3%、その他3%であった。



業種別、漁獲水産物状況(昭和59年1月21日～1月31日)

| 業種別 | 漁場 | 魚種別 | 水揚げ量 (kg) | 前日変化 (kg) |
|------|-------|---------|-----------|-----------|
| 定置網 | 知念 | カツオ 163 | ナガイユ 0 | メアジ 722 |
| 曳網 | 地先 | ガーラ 9 | マグロ 18 | - |
| 浮網 | 西宮沖 | シロカワ | クロカワ | 5,365 |
| 定置網 | 伊江 | シロカワ | クロカワ | - |
| 曳網 | 久米島 | - | - | - |
| 定置網 | 知念 | - | - | - |
| 曳網 | 本島 | - | - | - |
| 定置網 | 伊豆部 | - | - | - |
| 曳網 | 池間 | - | - | - |
| 定置網 | 約オ | - | - | - |
| 曳網 | 八重山 | - | - | - |
| 定置網 | 知念 | - | - | - |
| 曳網 | 与那原 | - | - | - |
| 定置網 | 本島 | - | - | - |
| 曳網 | 池間 | - | - | - |
| 定置網 | 約オ | - | - | - |
| 曳網 | 八重山 | - | - | - |
| 定置網 | 興流連 | 19 | 148,816 | 海賊 |
| 曳網 | シロカワ | 38,660 | シロカワ | 682 |
| メバチ | マカジキ | 2,736 | メカシキ | 4,423 |
| ビンナガ | キハダ | 55,444 | メバチ | 33,646 |
| 約オ | パンショウ | 1,200 | ビンナガ | 12,026 |
| 興流連 | 20' | 121,533 | - | - |

漁海況旬報

(第75報)

(昭和59年既第30報)

(昭和59年2月1日～2月10日)

S 海況

沖縄近海の表面水温は、19～23℃台で、前旬に比べて沖縄本島周辺で1～2℃、宮古島周辺で1℃程降温したが、八重山周辺は、前旬亚の水温である。

前年同期に比べると1～2℃程低く、沖縄本島周辺がより低めの水温である。また平年に比べるに沖縄本島で1℃低めであるが、先島周辺では平年並である。

県下各地の沿岸水温は、那覇19.0℃、宮古島19.0℃(平年並-0.9℃)、石垣島19.5℃(同-0.8℃)と那国島21.9℃(同-0.5℃)魚約島近海22.4℃(同+0.4℃)となっている。

また、沖縄本島の潮位では、18.4℃で前旬に比べて0.8℃低い。

S 漁況

今旬の海上は、北及び北東の季節風が強く、海上風警報や波浪注意報等があり、シケ模様であった。

定置網

定置網に入網した魚種別割合は、ガツン(メアジ)61%、カツオ38%、ガーラ1%で、マグロ、ナガイユ(ツムグリ)は、漁獲がなかった。

カジキ曳網

与那国、糸満地区とも出漁はなかった。

沖縄県水産試験場

〒114 08 沖縄県糸満市内海町1111

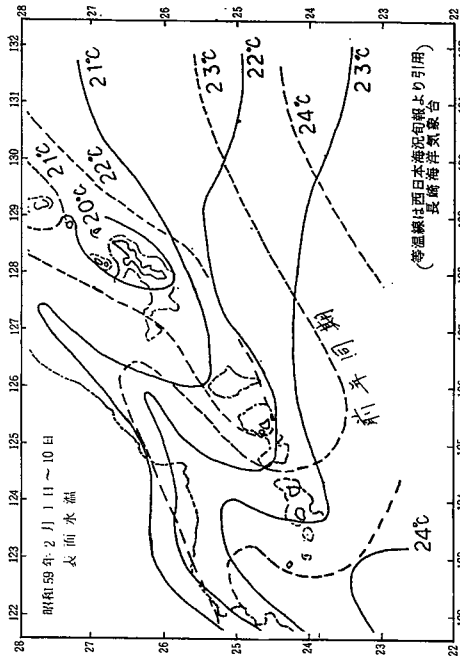
TEL 09898-1 3593

テレックス 09889 1 8703

マグロは本網

県漁業に水揚げされたマグロはえ網船は延べ24隻で149.4トンで一更当たり水揚げ量は、6.2トンであった。

魚種別割合はキハダ31%、クロカワカジキ21%、ビンナガ21%、メバチ17%、メカジキ4%、バショウカジキ3%、その他3%であった。



魚種別、漁獲別水揚げ状況 (昭和59年2月1日～2月10日)

| 魚種 | 所産 | 属協 | 延べ水揚量 (kg) | 漁場 | 魚種別水揚量 (kg) | 前回量 (kg) |
|-----|-----|----|------------|-------|------------------------|------------|
| 定置網 | 知念 | — | — | 知念 | カツオ 364 ナガイユ 0 メアジ 587 | — |
| 曳網 | 糸満 | — | — | 地先 | ガーラ 5 マグロ 0 | — |
| 細網 | 与那国 | — | — | 西崎 | — | — |
| 浮網 | 伊江 | — | — | 西崎 | シロカワ — クロカワ — | — |
| 敷網 | 知念 | — | — | — | — | — |
| ウチミ | 糸満 | — | — | — | — | — |
| 網 | 久米島 | — | — | — | — | — |
| トシ | 知念 | — | — | — | — | — |
| 約 | 与那国 | — | — | — | — | — |
| カ | 本部 | — | — | — | — | — |
| 一 | 伊良部 | — | — | — | — | — |
| 本 | 池間 | — | — | — | — | — |
| 釣 | 八重山 | — | — | — | — | — |
| はマ | 八重山 | — | — | — | — | — |
| えス | 県漁業 | 24 | 149,410 | フィリップ | クロカワ 30,924 シロカワ 2,704 | — |
| 網口 | 県漁業 | — | — | ビンナガ | メバチ 5,689 | — |
| | | | | 海城 | メバチ 25,672 | 19 148,816 |
| | | | | | バショウ 4,464 | — |
| | | | | | ビンナガ 32,249 | — |

(等温線は西日本海況旬報より引用)

漁海況旬報

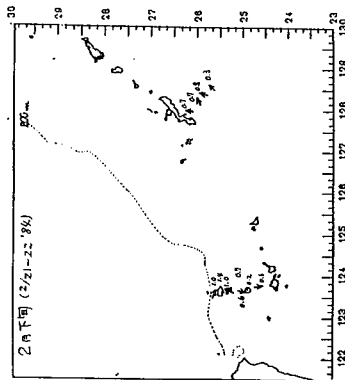
(第 77 報)
 (昭和 59 年度 第 32 報)
 (昭和 59 年 2 月 21 日 ~ 2 月 29 日)

沖縄県水産試験場

〒301 03 沖縄県糸満市海崎町 1-1-1
 TEL 09899-4 3593
 テレフックス 098991 4 8703

S 海況

沖縄島近海の海面水温は、21~23°C で前旬に比べて全般的に 1°C 程昇温した。
 前年同様に比べてやや高め、半年に比べてもやや高めとなっている。21~23°C に第 1 管区海上保安本部が実施した、右垣北西および沖縄本島南東の海面流況観測の結果では、東潮は魚釣島の南 5 マイルから 30 マイルの範囲に 1.0 ~ 1.4 ノットの東流でみられた。
 また、沖縄本島南東では、0.3 ~ 0.8 ノットの北東流がみられた。(海参照)



県下各地の沿岸水温は、那覇 20.0°C、宮古島 20.3°C、(半年差 -0.1°C)、石垣島 21.7°C (同 +0.9°C)、与那国島 22.8°C、(同 +0.1°C)、魚釣島近海 22.6°C (同 +0.3°C) となっている。
 また、沖縄本島の離陸島では、19.1°C で前旬と大差はない。

S 漁況

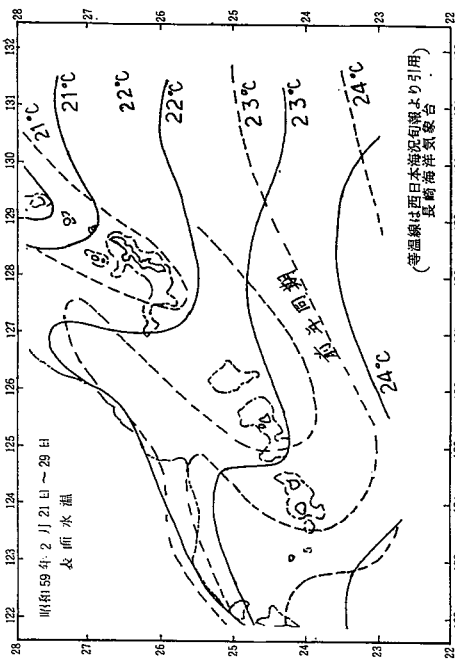
今旬も漁獲注意種等があらってシケキのみであった。
定置網
 定置網に人網した魚種別割合は、カツオ 95%、カンパシ (メアジ) 4% であった。

カジキ漁

今旬も出漁がなかった。

マグロ漁

東漁船に水揚げされたマグロは全船は延べ 21 隻で 141.3 トンで 6.7 トンであった。
 魚種別割合は、キハダ 43%、メハチ 27%、クロカワ 19%、メカジキ 6%、その他 5% であった。



業種別、漁船水産状況 (昭和 59 年 2 月 21 日 ~ 2 月 29 日)
 (等温線は西日本海況旬報より引用)
 長崎海洋気象台

| 業種 | 所原漁協 | 延べ漁船隻数 (隻) | 漁場 | 魚種別水揚げ量 (kg) | 前現 (kg) | 回数 (回) |
|------|------|------------|----|--------------|---------|---------|
| 定置網 | 知念 | - | 知念 | カツオ 205 | - | - |
| 男カジキ | 知念 | - | 地先 | ナガイユ 0 | - | - |
| 細キ | 糸満 | - | - | ガラ 0 | - | - |
| 浮ト | 伊江 | - | 青島 | シロカワ | - | - |
| ヒク | 知念 | - | - | - | - | - |
| ウ | 糸満 | - | - | - | - | - |
| 数 | 久米島 | - | - | - | - | - |
| 網 | 八重山 | - | - | - | - | - |
| ト | 知念 | - | - | - | - | - |
| イ | 与那国 | - | - | - | - | - |
| カ | 糸満 | - | - | - | - | - |
| ツ | 本部 | - | - | - | - | - |
| 一本 | 伊良部 | - | - | - | - | - |
| 釣 | 池間 | - | - | - | - | - |
| | 八重山 | - | - | - | - | - |
| マ | フィリッ | 141.300 | 海城 | クロカワ 27,511 | - | - |
| ス | 県漁連 | 2/ | | マカジキ 1,341 | 8,196 | 29 |
| 網 | | | | メハチ 61,503 | 37,793 | 129,849 |
| | | | | メアジ 4,134 | 4,134 | 0 |
| | | | | ホシマダラ 0 | 0 | 0 |

漁海況旬報

(第 78 報)
(昭和 59 年度 第 34 報)
(昭和 59 年 3 月 1 日 ~ 3 月 10 日)

沖縄県水産試験場

〒 901-08 沖縄県米良市西崎町 1 丁目
TEL 09899-4-3593
テレファックス 09899 4 8703

S 海況

沖縄近海の表面水温は、21~23℃台で前旬と変化はない。前年同期に比べてやや低く、平年に比べると沖縄島と宮古島周辺でやや高みである。

県下各地の沿岸水温は、那覇 19.3℃、宮古島 18.8℃(平年差 - 2.0℃)、石垣島 20.3℃(同 - 1.0℃)、与那国島 22.6℃(同 - 0.4℃)、魚釣島近海 22.8℃(同 + 0.3℃)となっている。

また、沖縄本島の種底島では、19.3℃で前旬と変化はない。

S 漁況

今旬は、前半北ないし北東の風で、後半南ないし南東の風で波浪注意警報や海上危険警報があった。

定置網

定置網に入網した魚種別割合は、ガツン(メアジ) 82%、カツオ(スマ) 32%、マグロ 4%、ガーラ(アジ類) 2%であった。

カジキ取網

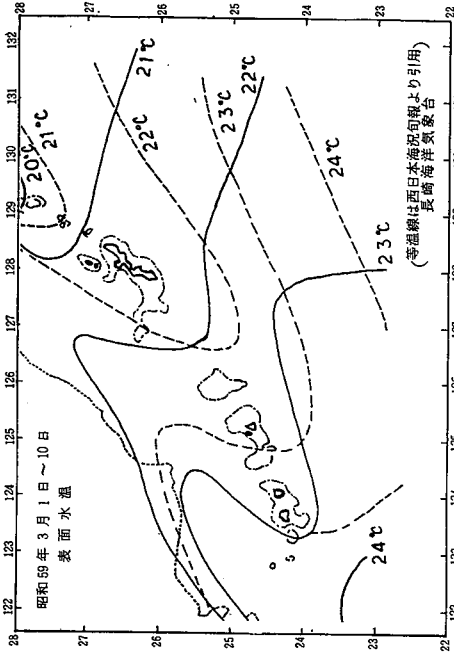
与那国近海のカジキ漁は、一時休漁していたが、今旬から再開した。出漁のべ数は、28隻で海水揚量は、4,126kg(32尾)で一隻あたり水揚量は、129kgであった。

今旬は、クロカワカジキのみで魚体の範囲は 67~225kgであった。

マグロはえ縄

県漁港に水揚げされたマグロはえ縄船は、延べ25隻で総水揚量は、148.8トンで一隻当たり水揚量は6.0トンであった。

魚種別割合は、キハダ40%、メバチ20%、クロカワカジキ18%、ビンナガ13%、メカジキ7%、その他2%であった。



養種別、漁船別水揚状況 (昭和 59 年 3 月 1 日 ~ 3 月 10 日)

| 養種 | 漁船 | 所産 | 延べ水揚量 (kg) | 漁船 | 魚種 | 別水揚量 (kg) | 前 | 回 | | | | |
|----|----|----|------------|----|---------|-----------|-------|---|-----|-----|--------|---------|
| 定 | 置 | 網 | | | | | 量 | 数 | | | | |
| 定 | 置 | 網 | 知念 | 知念 | カツオ | 228 | ナガイユ | 0 | メアジ | 438 | — | — |
| 見 | カ | ジ | 米 | 酒 | 地 | 先 | ガ | ラ | 15 | マ | グ | ロ |
| 綱 | キ | ツ | 伊 | 江 | 与 | 那 | 国 | シ | ロ | カ | ワ | 0 |
| 浮 | ト | ビ | 知 | 念 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 敷 | ウ | ツ | 米 | 酒 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 網 | カ | ジ | 久 | 米 | 島 | — | — | — | — | — | — | — |
| ト | ビ | ツ | 知 | 念 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 釣 | イ | ガ | 米 | 酒 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 一 | ガ | 本 | 伊 | 良 | 部 | — | — | — | — | — | — | — |
| 本 | ツ | 池 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 釣 | オ | 八 | 重 | 山 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| は | マ | グ | ロ | カ | ワ | 26,567 | シ | ロ | カ | ワ | 880 | — |
| ス | エ | グ | メ | カ | ジ | キ | 1,164 | メ | カ | ジ | キ | 10,306 |
| 網 | 口 | 尾 | 連 | 25 | 148,836 | ビ | ン | ナ | ガ | キ | 60,034 | 28,783 |
| | | | | | | | | | | | 1,252 | 18,650 |
| | | | | | | | | | | | | 21 |
| | | | | | | | | | | | | 141,900 |

漁海況旬報

(第 79 報)

(昭和 59 年度 第 35 報)

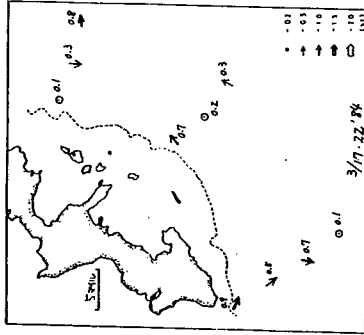
(昭和 59 年 3 月 11 日 ~ 3 月 20 日)

S 海況

沖縄近海の表面水温は、21~23°Cであるが、前旬よりやや降温したようである。前年同期に比べると1°C程度低めであるが、平年に比べてやや高い。

当水試が3/17に実施した沖縄島南東沿岸の表面流速観測の結果では、喜望峯岬から南東10マイルの間に0.5~0.9の南東~南の流れがみられた。

また、金武湾東方15マイルには、0.8ノットの東流がみられた。(図参照)



県下各地の沿岸水温は、那覇 20.2°C、宮古島 21.6°C (平年差+0.3°C)、石垣島 22.7°C (平年差+1.0°C)、島約島 22.8°C (平年差-0.2°C) である。

また、沖縄本島の瀬底島では、20.0°Cで、前旬に比べてやや昇温した。

沖縄県水産試験場

〒901-03 沖縄県糸島市南崎町1丁目
TEL. 09899-4-3593
テレファックス 09899 4 8703

S 漁況

海象

北東の風が強く、海上風警報や波浪地意報等があった。

定置網

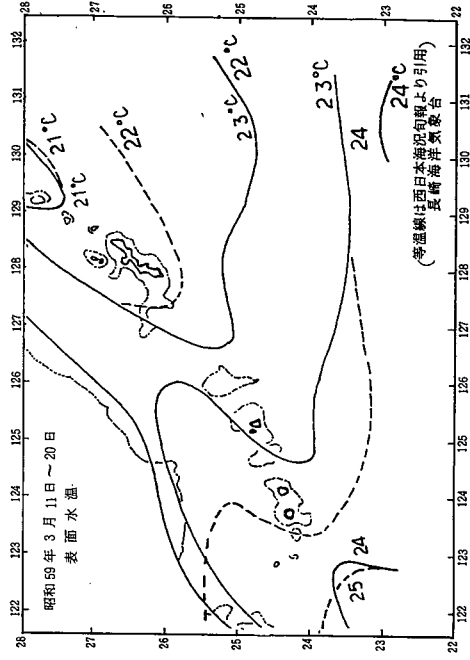
定置網に入網した移動回遊性の魚種別割合は、カツオ(スマ) 76%、ガーラ(アジ類) 23%、ガン(メナジ) 1%であった。

カジキ漁船

与那国近海のカジキ漁は延べ40隻出漁し、総水揚げ量は、5,460kg(43船)で一隻当たり水揚げ量は、137kgであった。今旬のクロカワカジキの魚体の範囲は、206~40kgのシロカワカジキ 309~55kgであった。

マグロはえ縄

県漁連に水揚げされたマグロはえ縄船は延べ20隻で総水揚げ量は、107.6トンで一隻当たり水揚げ量は、5.4トンであった。魚種別割合は、キハダ42%、クロカワカジキ24%、メバチ17%、トンボ11%、その他6%であった。



業種別、漁船水揚げ状況 (昭和59年 3 月 11 日 ~ 3 月 20 日)

| 業種 | 所属漁協 | 延べ水揚げ量 (kg) | 漁場 | 魚種別水揚げ量 (kg) | 前回数 |
|-----|------|-------------|------|----------------------|---------|
| 定置網 | 知念 | - | 知念 | カツオ 83, ナガユ 0, メアジ 1 | - |
| 現カ | 糸満 | - | 地先 | ガーラ 25, マグロ 0 | - |
| 縄キ | 与那国 | - | 与那国 | シロカワ - | - |
| 浮ト | 伊江 | - | 伊江 | シロカワ - | - |
| ビ | 知念 | - | - | - | - |
| ウ | 糸満 | - | - | - | - |
| ウ | 久米島 | - | - | - | - |
| 縄オ | 八重山 | - | - | - | - |
| ト | 知念 | - | - | - | - |
| イ | 与那国 | - | - | - | - |
| カ | 糸満 | - | - | - | - |
| カ | 本部 | - | - | - | - |
| オ | 伊豆部 | - | - | - | - |
| オ | 池間 | - | - | - | - |
| 本 | 本約 | - | - | - | - |
| 本 | 八重山 | - | - | - | - |
| はマ | 県漁連 | 107,605 | ワイリッ | クロカワ 25,467 | 752 |
| ス | 県漁連 | 107,605 | ピン那方 | メカジキ 4,318 | 25 |
| グ | 県漁連 | 107,605 | 海城 | メバチ 18,472 | 148,886 |
| ロ | 県漁連 | 107,605 | 海城 | メバチ 45,337 | 25 |
| 口 | 県漁連 | 107,605 | 海城 | メバチ 11,451 | 25 |

